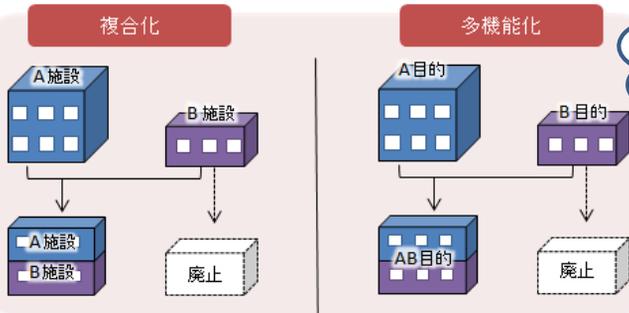


篠ノ井地区の公共施設について考える 市民ワークショップ開催のお知らせ

人口減少、少子高齢化が進展する中、地域の賑わいやまちづくり、世代間交流などにつながる、公共施設の「量」と「質」の見直しが求められています。

そこで、これからの「篠ノ井」の、篠ノ井駅周辺の市有施設を中心に、みんなで考える、市民ワークショップを開催します。



施設の集約化で
「にぎわい」づくり

複合化・多機能化による
「多世代交流」

主催者：長野市

(担当：公共施設マネジメント推進課、篠ノ井支所)

協力：篠ノ井地区住民自治協議会

参加者：約40名(公募メンバーほか)

	開催日	内容(予定)
第1回	8月6日(日)	オリエンテーション、グループワーク
第2回	8月27日(日)	グループ討議① テーマ：公共施設に求められる機能、必要なサービス等
第3回	9月10日(日)	グループ討議② テーマ：篠ノ井駅周辺の公共施設再配置の将来像
第4回	9月23日(土)	グループ意見発表、まとめ

いずれも時間は午後2時から4時まで、場所は「篠ノ井公民館」です

◇◇ ワークショップのねらい ◇◇

公共施設見直しの計画策定前の段階から、市民の皆さまと市が一緒に検討する、地域の公共施設に関する試みです。

様々な意見を自由に出し合っただき、各グループからの提案を、今後の公共施設再配置検討のたたき台にしたいと考えます。

なお、対象施設の整備方法や存続廃止などを決める場ではありません。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

篠ノ井支所 電話：292-2590

裏面もご覧ください

ワークショップは公開で
す。興味のある方は、
ぜひお越しください。



【ワークショップの全体テーマ】

①篠ノ井地区公共施設整備、②南部図書館の移転改築、③篠ノ井駅周辺の活性化対策

篠ノ井地区 市民ワークショップの主な検討対象施設

施設名称	経過年数	延床面積 (㎡)	施設名称	経過年数	延床面積 (㎡)
篠ノ井西小学校	43	8,711	篠ノ井体育館	37	916
通明小学校	34	7,687	茶臼山屋内運動場	29	787
篠ノ井西中学校	25	11,108	茶臼山市民プール	43	162
篠ノ井東中学校	28	9,289	ふたば園	31	171
篠ノ井公民館川柳分館	14	450	篠ノ井愛の樹園	38	279
篠ノ井中央人権同和教育集会所	32	132	子供の園保育園	35	499
南部図書館	38	2,131	西部保育園	7	1,097
南部勤労青少年ホーム	36	1,034	中央保育園	41	859
南部働く女性の家	28	697	篠ノ井西児童センター	36	300
篠ノ井こども広場	49	551	篠ノ井中央児童センター	43	317

経過年数は平成29年4月時点です

※ 現在の篠ノ井支所、篠ノ井公民館、中央分室、老人福祉センターについては、「(仮称)篠ノ井総合市民センター」として整備中ですので、検討対象施設からは除きます。

RISTEX 社会技術研究開発センター
Research Institute of Science and Technology for Society

～社会との協働が生む、社会のための知の実践～

篠ノ井地区市民ワークショップは BaSSプロジェクトとの共同事業です

長野市は、「地域を持続可能にする公共資産経営の支援体制の構築(=BaSS)」プロジェクトの研究代表者 前橋工科大学堤洋樹准教授と連携協定を締結しています。

堤准教授は、昨年度芋井地区で開催した市民ワークショップでアドバイザーを務めており、今回の篠ノ井地区の市民ワークショップでは、共同研究代表者として、公共施設マネジメント推進の視点から、さまざまな助言をいただきます。

また、信州大学工学部建築学科の寺内美紀子准教授と信州大学生も、ワークショップに参加する予定です。

(左は、平成29年1月12日連携協定締結式の写真です)

「BaSSプロジェクト」は、国立研究開発法人 JST科学技術振興機構 社会技術研究開発センターにおける「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域で、平成28年度に採択されたプロジェクトです。



開催の都度、回覧でお知らせします。

毎回、ワークショップの開催結果等について、回覧でお知らせします。ご意見など、遠慮なく、お聞かせください。

←「マンガでわかる！公共施設等総合管理計画」に登場する、長野市の公共施設マネジメント推進のマスコット、長野家のネコ「ミーコ」です。

「ミーコ」の生みの親は、篠ノ井地区の『長野俊英高等学校 漫画研究部』の皆さんです。

第1回 市民ワークショップ オリエンテーションと、「篠ノ井の公共施設を知ろう」 をテーマにグループ作業を行いました

8月6日（日）篠ノ井公民館で「篠ノ井地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

はじめに市から、長野市の公共施設の現状や課題などについて説明し、そのあとグループごとに「知っている篠ノ井地区の公共施設を書き出してみる」作業と発表を行い、市から公共施設の配置図や施設の概要調書などを配布しました。

ご参加いただいた皆さま、御協力ありがとうございました。

グループ作業の様子です



なごやかな雰囲気の中、様々な意見が出されました

今後の予定		内容（予定）	会場
第2回	8月27日（日）	グループ討議 テーマ ～公共施設に求められる機能、サービス～	篠ノ井公民館 （第一学習室）
第3回	9月10日（日）	グループ討議 テーマ ～南部図書館と篠ノ井駅 周辺の公共施設再配置の将来像～	
第4回	9月23日（土） （秋分の日）	意見発表、まとめ	

いずれも時間は午後2時から4時です。

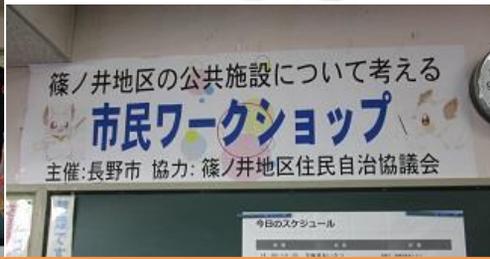
◇第2回目から本格的なグループ討議が始まります。興味のある方は、ぜひ会場にお越しください。飛び入り参加も大歓迎です。

◇長野市公式ホームページ「公共施設マネジメント推進課」に当日の資料などを掲載していますので、ご覧ください。

【お問い合わせ先】
公共施設マネジメント推進課
電話：224-7592
篠ノ井支所 電話：292-2590



参加メンバーからのご意見の一部を紹介します



【ワークショップの進め方などについて】

- ◆公共施設というイメージが広がった。配布された資料などをよく読んでみたい。
- ◆篠ノ井のまちの姿を描いて、公共施設の在り方を考えるワークショップを進めて欲しい。
- ◆施設の役割や将来像について、前提なく議論できる場にしてもらいたい。
- ◆公共施設の場所が理解できた。次回以降、深い議論ができることを期待している。
- ◆次回からもっと色々な意見が聞ければと思った。自分も発言していきたい。
- ◆公共施設の場所、配置、設置目的などを理解することが必要だ。
- ◆会場が狭くて聞き取りづらい。もう少し時間が欲しかった。
- ◆初対面の人ばかりで話せるか心配だったが、全体の雰囲気柔らかくて作業しやすかった。

【篠ノ井地区の公共施設について】

- ◆篠ノ井地区の公共施設について初めて知ることが多く、有意義な時間になった。
- ◆篠ノ井には美術館等ギャラリー機能が欠如している。今は無い施設を加えることも考えたい。
- ◆学校施設には歴史がある。継承する価値は数値化が難しいが、考慮すべきテーマだと思う。
- ◆南部図書館の移転改築について、図書館利用者として考える所があった。しかし、これからは、篠ノ井地区の公共施設全体の在り方や配置についても住民の一人として考えたいと思った。
- ◆これからも、全ての人が心地よく利用できる場所作りを考えていけたらと思う。自分も老人になったり、障害者になったりするの、そのことも頭において考えたい。

アドバイザーの堤先生(前橋工科大学准教授)のお話を紹介します。



『篠ノ井地区にある公共施設をどのくらい知っていますか』

- ・公共施設が、どこにあるか知ってますか？
→どんなことができる施設(建物)か確認しましょう。
- ・使った事のある施設は、どんな施設でしたか？
→どのように見直せば良くなるか考えましょう。
- ・使ったことの無い施設は、なぜ使わなくても良いのでしょうか？
→なぜその施設が必要なのか考えてみましょう。
- ・その施設、本当に広いと良いですか？広さよりも…
→どんな施設が良いのか考えてみましょう。

- ・本当に今の場所が良いですか？ 施設は動きません。だから場所はとても重要です。
→どの場所が良いのか考えてみましょう。
- ・その施設は誰のものでしょうか？ 例えば学校は、子どもが使うから子どものものですか？
→自分が使う・使わないに関係なく、皆さん全員の施設ではないですか？
- ・施設の使い方を見直しましょう。例えば図書館は本を読むだけ？勉強する、少し休憩したい…など
→今までの使い方の良いですか？ 使い方を見直すチャンスです。

『これからのワークショップを通して、公共施設の話だけでなく
これまでの生活を見直す、これからの生活を考える、きっかけにしてください。』



◇第1回と第2回の結果を、広報ながの10月号にあわせて回覧しています。
第3回と第4回の結果は、広報11月号にあわせて回覧します。お楽しみに！



第2回

市民ワークショップの結果をお知らせします

8月27日（日）篠ノ井公民館で、2回目の「篠ノ井地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

今回のグループ討議では、第一部で「公共施設で出来ること、今までしたこと」を出し合い、続く第二部で「私たちが公共施設でしたいこと」を考え、次回のワークショップで中心的に考える施設をグループ毎に決めていただきました。

参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

グループ討議の内容を紹介します

第1回WS

◇オリエンテーション

①「篠ノ井駅周辺で知っている公共施設を出し合おう」

（ねらい：篠ノ井駅周辺に公共施設がたくさんあること、使ったことが無い施設があることを再認識する） **グループ意見発表**

第2回WS

①「公共施設で出来ること、今までしたことを出し合おう」

②「私たちが公共施設でしたいことを考えよう」

（ねらい：全体テーマである南部図書館移転改築や篠ノ井駅周辺活性化の視点から、公共施設でしたい活動や、こんな施設にしたいといった意見を出し合う） **グループ意見発表**

第3回WS（予定）

①「グループで取上げたい施設を中心に、周辺施設の機能集約化を考えよう」

②「篠ノ井駅周辺の再配置計画(案)を考えよう」

（ねらい：堤先生の再配置の提案も参考にしながら、一定のエリアで再配置計画の提案をまとめていく） **グループ意見発表**

第4回WS（予定）

①「他のグループの意見発表も参考に、再配置計画(案)をまとめよう」

◇各**グループ意見発表**

◇講評・まとめ、記念写真撮影



人生の大先輩の皆さんが熱く語り合うAグループ



大学生から中学生まで参加したEグループの発表

ワークショップの結果、篠ノ井の公共施設に対するご意見・ご質問などありましたら、遠慮なくお聞かせください。

第3回と第4回のワークショップの結果は、来月、お知らせ(回覧)します。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

篠ノ井支所 電話：292-2590

日程により1回目と2回目の結果を一緒に回覧しています



「私たちが公共施設でいたいこと」



各グループから発表された主な意見をご紹介します

【Aグループ】 人生の大先輩の皆さん

◆取上げたい施設⇒南部図書館

◇本の交換会、展示会、発表会など交流の場になる施設にしたい。こども広場を一体整備したり、学校に通えない子どもの居場所に使える施設にして世代間交流を。

◇篠ノ井駅の東西をつなぐ自由通路は、自転車に乗って通行できるようにしたい。

◇公民館の部屋が足りない。市が駅前の空き家を借り上げて利用できないか。カフェも欲しい。

【Bグループ】 人生の先輩の皆さん

◆取上げたい施設⇒南部図書館と学校施設

◇利用者がくつろげる、まちの縁側的な施設に。休館日・夜間の利用も出来る図書館にしたい。

◇コンビニエンスストア機能もあると便利。学校の図書館とネットワーク化できないか。

◇図書館は篠ノ井だけの施設ではない。ワークショップの議論を活かし、じっくり検討を。

【Cグループ】 お父さん・お母さん世代の皆さん

◆取上げたい施設⇒南部図書館と保健センター機能

◇図書館にカフェや読み聞かせのできる個室などを。館長を公募し積極的運営を。時間延長も。

◇保健センターが遠いので、篠ノ井駅前にセンター機能があると便利。0歳児のお母さんが集えピラティスなどもできる場所にしたい。今のこども広場は部屋も駐車場も狭いので改善したい。

◇児童センターで学習支援や食事ができれば。屋外市民プールが屋内プールになれば良い。

【Dグループ】 これからのリーダー・若手の皆さん

◆取上げたい施設⇒まちづくりの拠点となる新しい図書館

◇本を借りるだけではない誰もが使える場所に、フリーマーケット、ミュージカルもできれば。

◇医療・教育・スポーツ・商店街など、茶臼山からUスタジアムまで繋がる篠ノ井のまちを見据えた、多彩な活動が行われる図書館に。そのためには行政だけではなく市民参加の運営が必要。

◇こども広場との連携、大学との連携やインターネットを活用した事業を。

【Eグループ】 大学生～中学生の皆さん

◆取上げたい施設⇒学校施設を活用した再配置

◇学校には、普通教室だけでなく、体育館・校庭・音楽室・家庭科室・視聴覚室など、さまざまな機能を持つ施設がある。スポーツ、バザー、アスレチックなど大人や小さな子どもに社会開放すれば色々な活動が可能になるのでは。

◇こども広場を社会開放、逆に学校をこども広場として活用する。老人福祉施設と複合化できれば多世代交流できる。ただし、学校を複合化・多機能化するにはセキュリティーの確保が必要。

◇学校図書館を活用し移動図書館サービスが充実すれば、施設としての図書館は要らないかも。

【堤先生のアドバイス】 ワークショップの限られた時間の中では難しいが、

★ワークショップの中で、今ある公共施設の使い方を考える・・・もっと活用できる方法はないか、こんな使い方でもできるのではないか。

★公共施設の運用方法を考える・・・いろいろな使い方を、どうやったら実現できるか。自分たちに何が出来るのか。

★公共施設はみんなのものだから、意識を持って話し合おう。

☆ワークショップにおける各グループの意見や、配布資料などは、[長野市ホームページ](#)>公共施設マネジメント推進課>篠ノ井地区ワークショップ に掲載していますので、ご覧ください。

第3回

市民ワークショップの結果をお知らせします

9月10日（日）篠ノ井公民館で、3回目の「篠ノ井地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

今回は「南部図書館と篠ノ井駅周辺の公共施設再配置の将来像について考える」をテーマに、それぞれグループ独自の再配置（案）を考えていただきました。

まず、アドバイザーの堤先生から「篠ノ井駅東西自由通路を活用して図書館が整備できるのでは？」というアイデアを含む、再配置の考え方の提案がありました。

その後「①集約化・複合化を考える、②公共施設以外の活用を考える、③将来まで残す施設を考える」の三つの視点を踏まえてグループ討議を行って、次回に向けた中間発表をしていただきました。

参加いただいた皆さま、熱心な議論をいただき、ありがとうございました。

お父さん・お母さん世代のCグループ



これからのリーダー・若手のDグループ

人生の先輩の皆さんBグループ

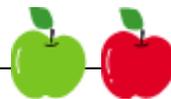


堤先生から「朝を楽しむ図書館」の提案



日程により3回目と4回目の結果を一緒に回覧しています

次回9月23日が最終回。各グループの意見発表会です。篠ノ井駅周辺の活性化や将来のまちづくりを見据えて、新鮮なアイデアが発表されることを期待しています。



【お問い合わせ先】
 公共施設マネジメント推進課
 電話：224-7592
 篠ノ井支所 電話：292-2590

各グループから発表された主な意見をご紹介します

【Aグループ】 人生の大先輩の皆さん

◆検討の方向性＝南部図書館と学校を活用した再配置

◇子ども広場を図書館と複合化。図書館に子どもや子育て世代が集まる工夫を。子どもが本を読む力をつける。住民参加の図書館づくりを。こども広場の分室も必要では。

◇青少年ホームと女性の家は一つに統合。人権同和教育集会所は学校の空き教室に統合。

【Bグループ】 人生の先輩の皆さん

◆検討の方向性＝南部図書館を中心とした再配置

◇町づくりの核となる、図書館の概念にとられない図書館にする。東西自由通路の活用も。

◇青少年ホーム、働く女性の家、子ども広場、子どもの園保育園は図書館に機能集約する。

◇駐車場、ぐるりん号といった交通対策が必要。

【Cグループ】 お父さん・お母さん世代の皆さん

◆検討の方向性＝図書館、保健センター、子ども広場の再配置

◇保健センター機能を篠ノ井駅の西口に。青少年ホームと女性の家は統合し公民館分館に。

◇子ども広場は篠ノ井中央公園等につくる。あるいは、現在地に加えてサテライトを作る。

◇図書館は今よりも充実させ大きくする。図書館本来のサービスを提供する。

【Dグループ】 これからのリーダー・若手の皆さん

◆検討の方向性＝まちづくりの拠点となる図書館を中心とした再配置

◇図書館を中心として駅前の活性化を図る。場所は要検討。子ども広場は図書館に機能を統合。

◇新しい総合市民センター（公民館）は利用に制約がある。図書館で不足する機能を補えるようにしたい。県の埋蔵文化財センターとも連携できれば。

◇学校の防災拠点機能を充実させ、通常時は会議室等に活用。篠ノ井体育館も避難場所に活用。

【Eグループ】 大学生～中学生の皆さん

◆検討の方向性＝学校施設を活用した再配置

◇図書館機能は小中学校に分散させる。学校図書館のネットワーク化や移動図書館の充実を図れば、図書館というハコモノは無くても良い。本のある場所に学生・子どもを集めるのではなく、学校に本を集める発想。児童センターは小学校に統合。南部図書館跡に子ども広場と保育園を。

↓堤先生（前橋工科大学）から提案された「朝を楽しむ図書館」のイメージイラストです↓



この案のように
従来の施設に縛られない使い方を
提案してください！



終了後のアンケートでは「沢山の夢のある意見が出て楽しかった。分りやすく議論ができた」といった声と「ワークショップは4回では少ない。もっと落ち着いて議論すべき。時間が足りなかった。タイムスケジュールをしっかりと管理して」といった声をいただきました。

また「ワークショップの話し合いを市政に反映して欲しい。未来の篠ノ井のために若い人の意見を広く取り入れるべき」など、これからの期待する意見をいただきました。

最終回 市民ワークショップ

「私たちが考える、公共施設再配置(案)」

をテーマにグループ討論を行いました

9月23日(土)篠ノ井公民館で、市が主催する最後の「公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

既存の公共施設の再配置を考えるグループ討論を行い、まとめとなる意見発表を行いました。アドバイザーの堤先生から講評をいただき、住民自治協議会の平林会長のあいさつの後、樋口副市長から御礼のあいさつを申し上げます。最後に参加者全員で記念撮影を行い、篠ノ井地区のワークショップは幕を閉じました。



各グループから、篠ノ井駅周辺の公共施設の再配置案を、短い時間の中でまとめて発表していただきました。(詳細は次ページをご覧ください)

今後、具体的な再配置及び施設整備に向けた検討につきましては、今回のワークショップでいただいたご意見等を参考に、住民自治協議会をはじめとする地域の皆さまや、広く市民の皆さまの意見をお聴きしながら協議を重ねてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

市民ワークショップや公共施設マネジメントに対するご意見、ご要望などありましたら、遠慮なく下記までお寄せください。



今回のワークショップは、上は80代の方から、下は中学生まで、幅広い年代のメンバーが、熱い討論を重ねていただきました。

「ミーコ」の生みの親である、長野俊英高等学校の生徒達も参加してくれました。

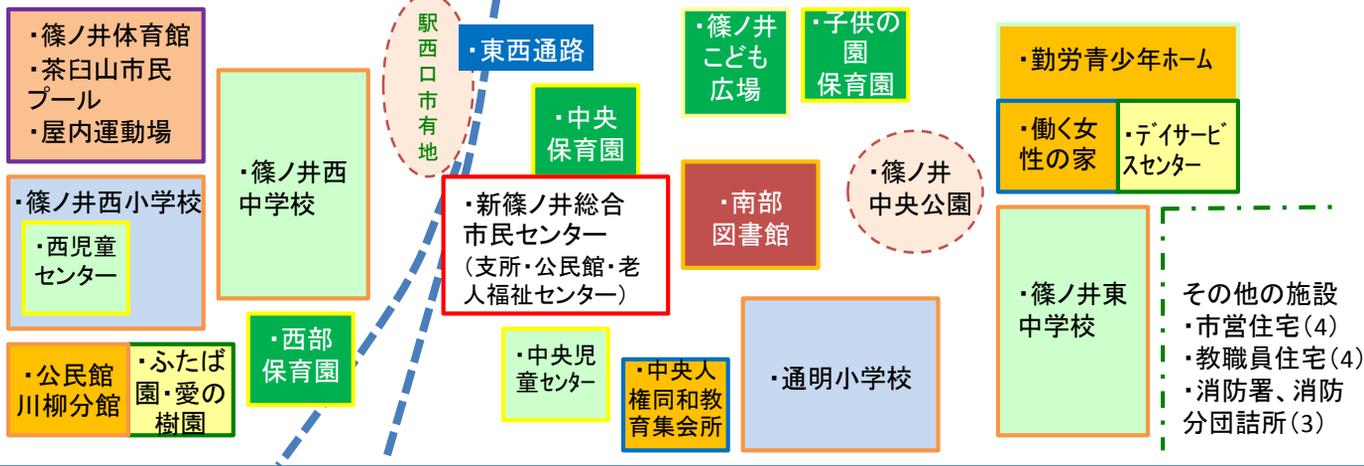
【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話:224-7592

篠ノ井支所 電話:292-2590

篠ノ井駅周辺の施設イメージ図（施設の配置を簡略化した図です）

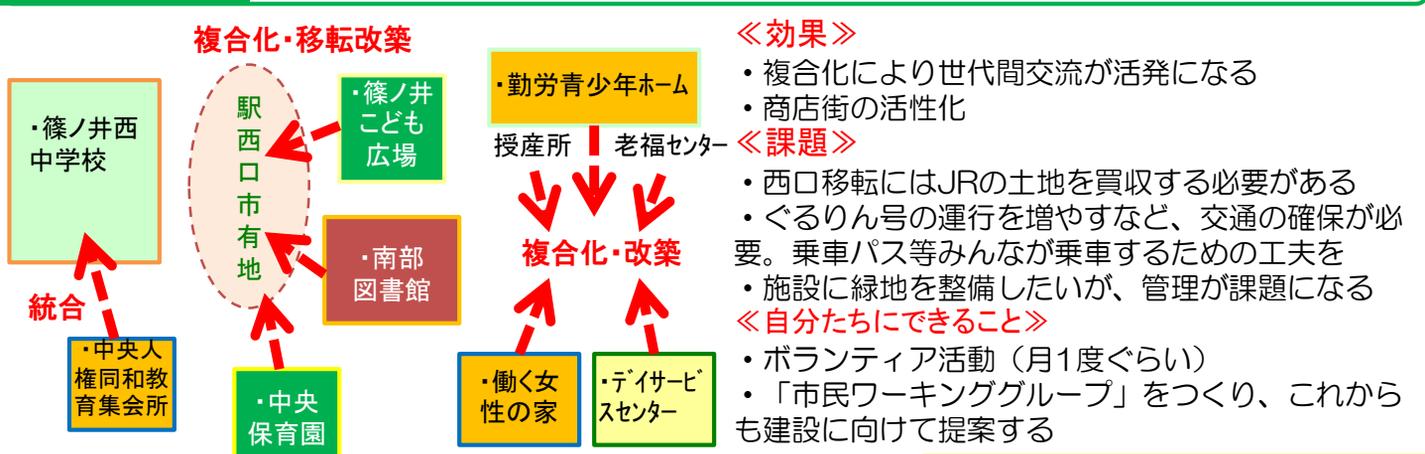


各グループの施設再配置案の概要をご紹介します

以下に、建物移す案を **--->** で、機能を移す案を **--->** で、表しています

Aグループ

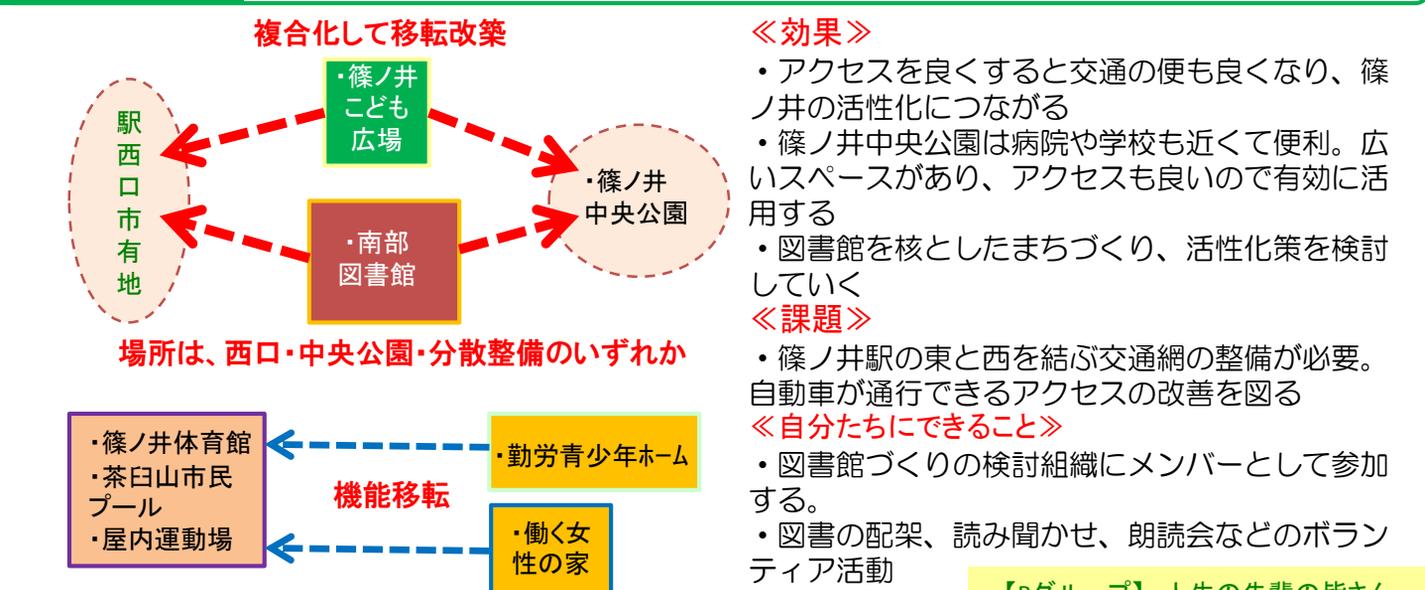
コンセプト【50年100年後も生き生き活用できる施設】



【Aグループ】 人生の大先輩の皆さん

Bグループ

コンセプト【南部にも核となる図書館を！】



【Bグループ】 人生の先輩の皆さん

参加者アンケートの主な意見をご紹介します



アドバイザー 堤先生

住自協 平林会長

樋口副市長

【Aグループ】 人生の大先輩の皆さん

- ◆図書館が無い市町村もある中で、地域に図書館があることが有難いと思う
- ◆公共施設はそれぞれ特徴があるので、複合施設の難しさを感じた
- ◆「人口減少時代の都市像をどう考えるか」とする検討のコンセプトは理解できる
- ◆大勢で話し合うので仕方ないが、深くかかわって意見を出せる時間が短いと思う
- ◆今後の取り組みの中で、より議論を深め、より良いまちづくりに生かして行くことが必要

【Bグループ】 人生の先輩の皆さん

- ◆より良い図書館を目指して、将来すばらしい図書館が生まれることを望んでいます
- ◆色々な意見に遭遇してとても参考になり、楽しくすごしました
- ◆西口は住宅エリア。住宅なら今のアクセスで良い。図書館は中央公園又は埋蔵文化センターの場所に。駅の西側にするなら道路を開通してからにすべき

【Cグループ】 お父さん・お母さん世代の皆さん

- ◆篠ノ井の住民にアンケートを取ることで、家族の中でも話し合える良い機会になるのでは
- ◆お金が無いといいながら、夢がつぶれるというのはいかがなものか。工夫していくこと、長野市を良く考えていくべき
- ◆ワークショップは全ての入り口だと思う。今後のやり方、プロセスを含め明示していただきたい。南部図書館は十分な検討の機会を作って欲しい

【Dグループ】 これからのリーダー・若手の皆さん

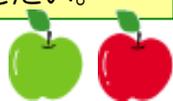
- ◆どんな街をつくるのかコンセプトを考えて積上げていくことが重要。施設単体で考えていてはバラバラなまちづくりになる気がする
- ◆建物の図面が出来る前のワークショップは画期的。意見を出しやすい場づくりも良かった
- ◆床面積を拡大しない案を考えたいと思っていたが、やりたいことをまとめていくと現状より大きくなってしまった。メンバー公募の段階で具体的なテーマを示した方が議論が深まる

【Eグループ】 大学生～中学生の皆さん

- ◆自分に関係ない施設ばかりだと思っていたが、住民が協力してこれからのことを考えなければならないことを思い知らされた。新しい施設を作る際は複数意見を聞くのが大切だと感じた
- ◆篠ノ井の未来を考えられて良かった。市民に愛されて使われている公共施設はすばらしいと思うし、今後も続いていくと良いと思う
- ◆未来を変えようとみんなで話し合い、それが現実になる可能性がある
- ◆利用しない施設が多い中、ランニングコストが高いことも聞き、ぜひ無駄を無くして欲しい

【堤先生の講評から】参加メンバーの皆様に感謝。ワークショップで終わりにしたくないという意見が多かった。4回の限られた時間の中では具体的な提案までまとめるのは専門家でも難しい。ワークショップはスタートのきっかけ作り。地域住民の皆さんが、自らこれからの取組を考えて、主体的に行動し、行政を巻き込んでいくような活動が必要。私も可能な範囲でお手伝いしたい。1月20日に芸術館で市民シンポジウムを開催するので、ぜひ参加いただきたい。

塩崎・信里・共和・東福寺などの公共施設については、別途検討する予定です。
今後も引き続き、ご協力をお願いします。



「朝陽地区の公共施設について考える」 市民ワークショップのメンバーを募集

回覧

- 応募人数: 朝陽地区在住者 30名程度
 - 応募期間: 平成29年8月17日(木)～9月8日(金)
 - 開催予定日: 年3回(毎月1回)程開催 ※第2回目以降の日程は未定。
《第1回》9月17日(日)午前10時～12時 朝陽支所2階集会室
 - 応募方法: 応募用紙に必要事項を記入のうえ、朝陽地区住民自治協議会事務局へ提出。応募用紙の請求は、同事務局までご連絡ください。(住自協ホームページ<http://asahi-ik.jp>からもダウンロード可。)
- 【問合せ・連絡先】 朝陽地区住民自治協議会事務局
電話・FAX: 219-1068 E-mail: asahi-jichi@mist.ocn.ne.jp

朝陽地区では、朝陽公民館・支所を含めた活動拠点の総合施設整備については、「生き生き朝陽みんなでトーク」等の場において、毎年、市へ要望を行っているところです。

一方、人口減少・少子高齢化の進展に伴い、公共施設の量と質について、全市的・総合的な視点による見直しが今、求められています。

そこで、朝陽地区の公共施設について、様々な意見を出し合っていただく場として、朝陽地区の「市民ワークショップ」を開催するにあたり、ワークショップのメンバーを募集します。

朝陽地区の主な公共施設

朝陽公民館本館	朝陽公民館分室・朝陽支所 朝陽地区住民自治協議会事務局
	
<ul style="list-style-type: none">・ 建築年(経過年) : 昭和47年(45年)・ 床面積(構造) : 866㎡ (鉄筋コンクリート2階)	<ul style="list-style-type: none">・ 建築年(経過年) : 昭和62年(30年)・ 床面積(構造) : 391㎡(鉄骨造2階)

(注): 朝陽地区の市有施設は、公民館・支所のほか、朝陽小学校、朝陽児童センター、エムウェーブ、朝陽体育館、千曲川リバーフロントスポーツガーデンなどがあります。

「朝陽地区の公共施設について考える」 市民ワークショップメンバー応募用紙

ご応募締切日：2017年9月8日（金）

事務局記入欄	
受付日	

応募者	氏名（ふりがな）	年齢	性別
	職業		
連絡先	住所	〒	
	電話番号		
	FAX		
	メールアドレス		
応募動機（記入任意）			

※氏名、年齢、性別、住所は必須

※電話番号・FAX・メールアドレスは最低1つをご記入ください（日中連絡可能な連絡先、携帯、スマホも可）

※職業は学生（小・中・高も可）、主婦、会社員、団体役員、自営業、無職など大まかにご記入ください

※応募用紙の提出方法は、郵送、持参、FAX、電子メールのいずれかをお願いします

提出先 〒381-0014 長野市大字北尾張部226-9
朝陽地区住民自治協議会
電話番号／FAX 026-219-1068
メールアドレス asahi-jichi@mist.ocn.ne.jp

◆個人情報の取り扱いについて

- ・ご記入いただいた個人情報は「朝陽地区の公共施設について考える」市民ワークショップの活動に使用します。
- ・本件活動及び運営を円滑に行うために、いただいた個人情報の内、氏名、住所の一部を記載した参加者名簿を作成し、各参加者へ配布します。
- ・ご記入いただいた個人情報は上記の目的以外で使用したり、あらかじめご本人の同意なく第三者に提供することはありません。

第1回 市民ワークショップ オリエンテーションと、グループ作業を行いました

9月17日（日）支所2階で「朝陽地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

市から、長野市の現状や課題などについて説明し、そのあとグループごとに「長野市の公共施設を使って気になったこと」を出し合い、「朝陽地区を含めた、これからの公共施設に求められる機能・サービス」を話し合い、発表を行いました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。次回もよろしくお願いいたします。

グループ作業の様子です



朝陽地区住民自治協議会の川又総務部会長から「総合施設建設に向けての検討委員会」の状況も説明いただきました。

今後の予定		内容（予定）	会場
第2回	10月21日（土）	グループ討議 テーマ ～地区の公共施設の課題と、支所・公民館の将来像について話し合おう～	朝陽支所 （2階）
第3回	11月18日（土）	グループ討議 テーマ ～朝陽地区の公共施設の将来像をまとめよう～ ◇意見発表～まとめ	

いずれも時間は午前10時から12時までです。

◇第2回目は本格的なグループ討議が始まります。特に若い方、ぜひ会場にお越しください。飛び入り参加も大歓迎です。

◇長野市公式ホームページ「公共施設マネジメント推進課」に当日の資料などを掲載しますので、ご覧ください。

【お問い合わせ先】
公共施設マネジメント推進課
電話：224-7592
朝陽支所 電話：243-7293



参加メンバーからのご意見の一部を紹介します



【公共施設を使ってみて～良い点～】

- ◇無料で、あるいは安い料金で利用できる。
- ◇身近なところに施設がある。朝陽支所は地区の中心にあって良い。
- ◇施設職員が親切に対応してくれた。ふれあいセンター等は、中高生が気軽に利用している。
- ◇サークル活動やボランティア活動で気軽に利用できる。
- ◇トイレがきれい。バリアフリーに配慮されている。市役所第一庁舎がきれいになった。
- ◇オリンピック施設もあり、文化活動の拠点が充実している。

【公共施設を使ってみて～悪い点～】

- ◆駐車場が狭い。市役所の駐車場が出入りしづらい。
- ◆施設の配置が偏っている。交通の便が悪い。
- ◆施設の老朽化が進んでいる。和式のトイレがある。
- ◆公共施設は、デザインも含め立派なものはいらないのではないか。
- ◆オリンピック施設は負の遺産でもある。今後どうしていくのか。
- ◆二階建ての建物にはエレベーターが必要。災害時の防災拠点になっていない。
- ◆施設の利用時間が短い。システムでの予約が取りづらい。使用料金の支払いがわかりづらい。



【これからの公共施設に求める機能・サービス】

- ◇用途を限定せずに沢山の用途に使うことが出来る施設がほしい。
- ◇Webでの申し込みなど、施設の利用・予約方法を工夫する。
- ◇災害時の避難所としての拠点機能を。障がい者対応を。子どもたちの集合場所になる所を。
- ◇カフェやコンビニを入れるなど、施設の魅力を高めることが必要。見た目のカッコ良さ。
- ◇駐車場を広く整備する。施設の集約化・総合施設にする。
- ◇国道18号長野東バイパスの開通をうまく活用した施設整備。朝陽地区に大きな公園が必要。
- ◇高齢者が利用しやすい交通網の整備を検討する。自転車走りやすい道路整備を。
- ◇世代間の交流ができる施設。どの世代でも使える工夫を。
- ◇施設をまとめて維持管理費用の節減を図る。民間活力の導入については賛否両方がある。

参加者アンケートのご意見を紹介します

- 時間が短い。もっと地元朝陽地区についての議論が出来れば良かった。付箋に記入するのが忙しく、もっと意見を言う時間が欲しかった。市有施設だけでなく国や民間施設も視野に入れる。
- 意見は聞きましたというような既成事実をつくるためのワークショップにしないで欲しい。
- 良い経験ができた。ストレス解消にもなった。年代を超えて縦断的に話あうことができた。
- これからのワークショップの結果について、まとめて、市の対応等を具体的に整理し、報告して頂きたい（「前向きに検討します」は希望しない）



◇第1回の結果を、広報ながの10月号にあわせて回覧しています。
第2回の結果は、広報11月号にあわせて回覧します。お楽しみに！



第2回

市民ワークショップの結果をお知らせします

10月21日（土）支所2階で、2回目の「朝陽地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

グループ討議では、第一部で「朝陽地区の公共施設の課題」を出し合い、第二部で「支所公民館の将来像について」話し合いました。討議の間には、市から一般的な「公共施設整備の手法について」のメリット・デメリット等を説明し、建替えについての理解を深めました。参加いただいた皆さま、ありがとうございました。



大先輩が熱く語り合うEグループ



公共施設マネジメント推進課からの説明

市の説明のポイントを紹介します

現地建替え①(敷地が広い場合)

◇既存建物の横に新たな施設を建設し、引越し後、既存建物を解体する方法

- 仮移転が不要で、引越し回数が少なくて済む
- 新たな用地を求めなくて良い
- 工事中敷地(駐車場)が狭くなる

現地建替え②(敷地が狭い場合)

◇既存建物の一部を解体して新たな施設を建設し、引越し後、残っている既存建物を解体する方法

- 仮移転が不要で、引越し回数が少なくて済む
- 新たな用地を求めなくて良い
- 工事中敷地(駐車場)が狭くなる。工事期間が長くなる

現地建替え③(一部解体できない場合)

◇別の場所に仮移転又は休館して既存建物を解体。新たな施設を建設して、引越しする方法

- 新たな用地を求めなくて良い
- 仮移転又は休館が必要。引越し回数が多い。①②に比べてコスト高になる

移転建替え

◇別の場所に土地を求め、新たな施設を建設して、引越しし既存建物を解体する方法

- 仮移転が不要で、引越し回数が少ない。工事期間が短い
- 新たに用地を取得する必要(時間とコスト)がある。
- 場所移転の周知が必要。既存敷地の跡利用が課題

○:メリット、●:デメリット

当日配布した資料をホームページに掲載
していますのでご覧ください

ワークショップの結果、朝陽の公共施設に対するご意見・ご質問
などありましたら、遠慮なく
お聞かせください。
第3回ワークショップの結果
は、来月回覧いたします。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話:224-7592

朝陽支所

電話:243-7293



いよいよ次回
は最終
の発表
です。
各グループ
の発表
をぜひ
見たい
ですね。

「支所・公民館の課題解決に向けて」

各グループから発表された主な意見をご紹介します

「◇建設場所」につきましては、土地所有者など関係の皆さまに御了承なく、ワークショップで出された意見を掲載しております。関係の皆さまには、御容赦いただきますようお願いいたします。

【Aグループ】

◆整備手法 ⇒ 支所と公民館を一体化して改築する

◇建設場所 ⇒ ①JAの土地 ②公民館現在地 ③支所南側の農地

・出された意見⇒ 支所・公民館は朝陽地区の中心部に。今の場所で整備する場合は高層化して複合化を図る。公民館の体育館機能は成人式やサークル活動等で使用しているのでなくせない。学校に空き教室があるなら活用したい。児童センターが狭い

【Bグループ】

◆整備手法 ⇒ 支所と公民館を一体化して改築する

◇建設場所 ⇒ ①支所西側の農地 ②北長池公会堂の西側の農地 ③朝陽体育館西側の民間事業者所有地 ④支所南のJA所有地 ⑤石渡の資材センター ⑥コンフォート岡田の周辺

・出された意見⇒ 移転改築を前提に、民間の土地も含めて移転先の候補地を考えた

【Cグループ】

◆整備手法 ⇒ 支所と公民館を一体化して改築する

◇建設場所 ⇒ 現在の場所から南側の広い場所へ（市街化調整区域の農地）

・出された意見⇒ 支所・公民館に体育館と防災拠点機能を整備する。現在の支所敷地は宅地に売却し、公民館敷地は児童センターに。第2候補としては今の支所の場所に整備する。立地は良いが敷地が狭いため第2候補とした。国道18号より北になると長野運動公園しかないのでは

【Dグループ】

◆整備手法 ⇒ 支所と公民館を一体化して改築する

◇建設場所 ⇒ ①北長池公会堂の西側の農地 ②富士通長野工場の敷地 ③現在の支所・公民館の敷地の広い方に高層化

・出された意見⇒ 支所と公民館の執務室は近接している方が良い。現在の支所・公民館の敷地は売却できる。富士通はアクセスがよく水害にも強い場所だが小学校から離れてしまう

【Eグループ】

◆整備手法 ⇒ 支所と公民館を一体化して改築する

◇建設場所 ⇒ ①支所南のJA所有地 ②北長池公会堂の西側の農地 ③長野運動公園の東側の民間事業者所有地 ④東外環状線の沿線（消防東部分署の機能も一体化して防災拠点に）

・出された意見⇒ 基本的に朝陽地区の真ん中にあることがベスト。JA所有地を活用して、公民連携手法を取り入れながら、県道三才大豆島線の拡幅も実現したい

合築での移転改築が共通意見、移転先候補は多数出ました。次回各グループで意見をまとめます。

【参加者アンケートより】

- ★具体的なテーマで良かった。市民の意見が行政にフィードバックされると良い
- ★各グループの意見を聞くと共通の提案であり、認識の同じ人が多い
- ★普段利用していないため具体案が浮かばなかった。他の人の意見が聞けて良かった
- ★到達点から遠い地点から検討しているように感じる。後半の時間が少なかった
- ★市としての考えを聞きたい（予算の規模、整備の期限など）



最終回 市民ワークショップ 「私たちが考える、公共施設再配置(案)」 をテーマにグループ討論を行いました

11月18日(土)朝陽支所で、第3回の「朝陽地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

既存の公共施設の再配置を考えるグループ討論の後、まとめとなる意見発表を行いました。住民自治協議会の千野会長のあいさつ、樋口副市長から御礼のあいさつと講評の後、参加者全員で記念撮影を行い、朝陽地区のワークショップは幕を閉じました。関係の皆さま、ありがとうございました。



各グループから、朝陽支所・公民館を中心に公共施設の再配置案を、短い時間の中でまとめて発表していただきました。(詳細は次ページをご覧ください)

今後、具体的な再配置及び施設整備に向けた検討につきましては、今回のワークショップでいただいたご意見等を参考に、地元の検討委員会をはじめとする地域の皆さまや、広く市民の皆さまの意見をお聴きしながら協議を重ねてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

市民ワークショップや公共施設マネジメントに対するご意見、ご要望などありましたら、遠慮なく下記までお寄せください。



今回のワークショップは、朝陽地区住民自治協議会のご協力をいただき、公募及び、朝陽地区内の各区からご参加いただいたメンバーで、熱い討論を重ねていただきました。

【お問い合わせ先】
公共施設マネジメント推進課
電話:224-7592
朝陽支所 電話:243-7293

朝陽地区の主な公共施設



支所
(公民館分室)



エムウェーブ



公民館



小学校



児童センター



体育館

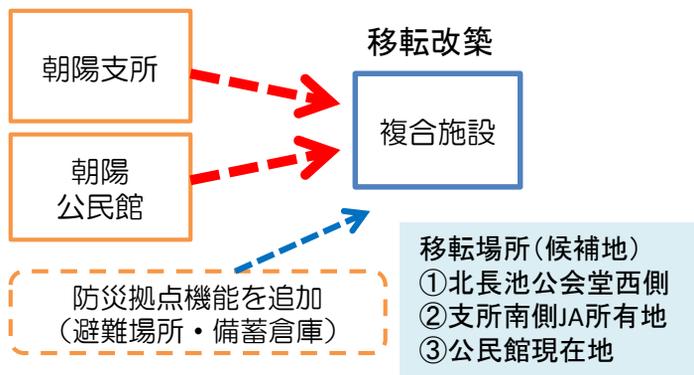
「移転場所」につきましては、土地所有者など関係の皆さまに御了承なく、出された意見を掲載しております。関係の皆さまには、御容赦いただきますようお願いいたします。

各グループの施設再配置案の概要をご紹介します

以下に、建物を移す案を で、機能を移す案を で、表しています

Aグループ

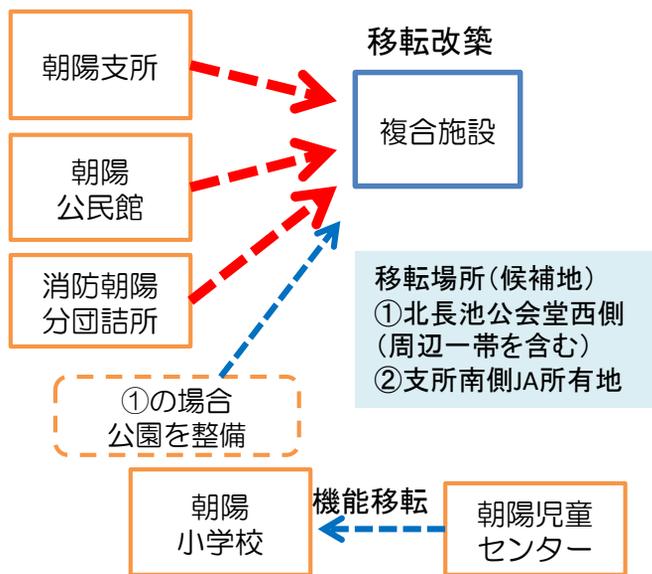
コンセプト【朝陽地区の一体感を醸成できる コンパクトな公共施設再配置】



- 《効果》
- ・複合化により機能を集約し、適正規模を保ち、コスト削減を図る。新しい設備の施設を建設
 - ・集約化による支所・公民館の連携
- 《課題》
- ・用地取得（地権者の理解、十分な面積の確保）
 - ・駐車場の確保（用地が狭ければ立体化、施設同士をデッキで結ぶなど）
 - ・水害対策
- 《自分たちができること》
- ・それぞれの区で、住民の意見を集約しながら施設建設について検討していく（道路整備も考える。将来的には学校の複合化や公民連携も考える）

Bグループ

コンセプト【不便から便利に向けての朝陽 ～施設の複合化と再配置～】

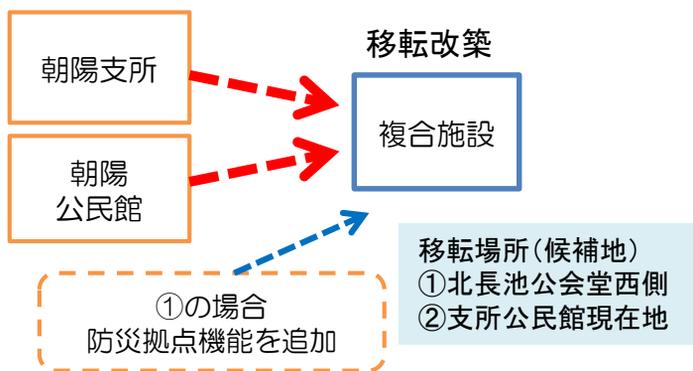


- 《効果》
- ・①の場合：一か所で施設サービスが受けられる、公園整備により防災機能を確保する
 - ・②の場合：小学校に近く朝陽地区の中心地、JAと協力できる、公民連携手法も活用できるのでは
- 《課題》
- ・①の場合：調整区域の用地取得
 - ・②の場合：民間所有地のため協力が得られるか
 - ・共通：避難場所としての機能を持たせたい
- 《自分たちができること》
- ・施設建設のための募金
 - ・説明会の開催、署名活動、市への要望
 - ・公園が整備されれば愛護会等のボランティア

Cグループ

コンセプト 【安全と広い土地】

バリアフリー化した建物と防災拠点



移転場所①の場合、現在の支所及び公民館の敷地は売却して建設費に充てる

《効果》

- ・バリアフリー化、安全性の向上
- ・施設の機能向上（駐車場の確保）
- ・防災拠点化（備蓄、避難所）
- ・ランニングコストの削減

《課題》

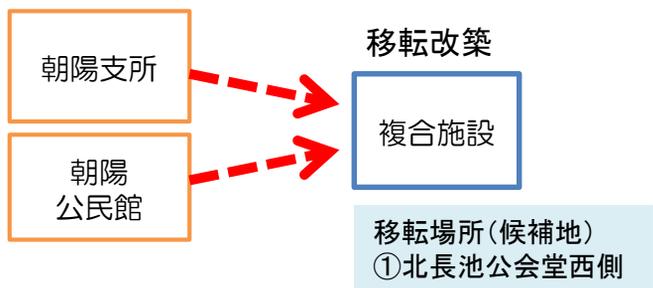
- ・①の場合：用地の確保
- ・②の場合：建て替え工事中の機能の維持
高層化等によるコストが高くなる
支所と公民館の連携を図る（連絡デッキ等）
駐車場確保（用水をなんとかできないか）

《自分たちにできること》

- ・行政への要望

Dグループ

コンセプト 【明るい朝陽 ～夢を追及～】



現在の支所は北尾張部と北長池の地域公民館として共同利用（市から賃借、バリアフリー化は必要）

現在の公民館は高齢者施設として民間で利用または社会体育館として利用

《効果》

- ・様々な課題を解決することができる（老朽化、施設が狭い、支所と公民館の連携がしづらい、バリアフリー化が必要、駐車場が離れている、駐車場が不足している等）

《課題》

- ・用地の確保
- ・結局はお金の問題だと考える（お金があれば、なんでもできる）

《自分たちにできること》

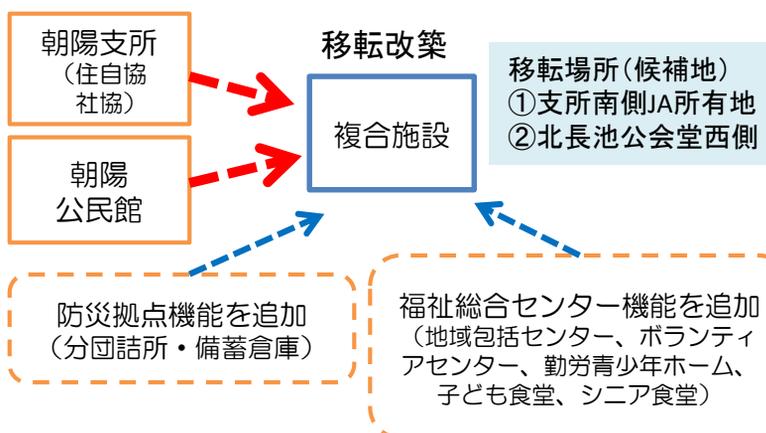
- ・地権者を説得する



Eグループ

コンセプト 【世代間交流による“にぎわい”

+福祉・防災センター】



《効果》

- ・複合化によるワンストップサービス
- ・高い費用対効果を生み出す
- ・にぎわいづくり、安心・安全な公共施設

《課題》

- ・用地取得
- ・PPP/PFIなどの公民連携手法の導入
- ・公民館を多目的ホールにすることで講演会、スポーツ大会、飲食もできるようにしたい

《自分たちにできること》

- ・施設の運営に参画する
- ・地域が団結していく

参加者アンケートの主な意見をご紹介します



高野市議会議員



住自協 千野会長



樋口副市長

【Aグループ】

- ◆公共施設整備は行政が行うものと考えていたが、自分が参加し考えることができ良かった
- ◆課題克服、将来的な複合化など意見を出し合うなかで個人では気づかないことが分ってきた
- ◆理想的な方向で話が進んだが、現実をもっと見つめるべき。方法論はかなりあるはず
- ◆ワークショップをした後どうなるか、どうなったのか報告してもらいたい
- ◆用地取得にあたりワークショップの意見をしっかり反映して、粘り強く対応してほしい

【Bグループ】

- ◆他の人の考え方を知ることができて有意義だった。一番大切なのは今後の地域のつながり、コミュニケーションが深まることだと思うので、自分にできることを少しずつやっていきたい
- ◆いろいろな課題があることを認識した
- ◆3回とも楽しかった。ワークショップで出された意見が是非実現できればと思う

【Cグループ】

- ◆地域の公共施設の状況が分かった。問題点の大きさも把握できた
- ◆公共施設は自ら考え、創るものだという思いが高まった
- ◆地域のことで知らないことが多く、少し関心を持つことができたと思う
- ◆市は、ぜひ予算の確保をしてもらいたい
- ◆グループ内の意見が大いに参考になった。集約化、複合化を真剣に考えることができた

【Dグループ】

- ◆以前は支所や公民館がきれいになって、バリアフリーで高齢者も使いやすくなればと思っていただけだが、具体的に考えることができて良かった
- ◆いろいろな考え方があると感じた。また、考える事はある程度、結局同じだとも感じた
- ◆ワークショップが、どのようにまとまっていくのか疑問だったが、グループの意見がうまく集約できて良かった。ファシリテーターがしっかり進行してくれて良かった

【Eグループ】

- ◆ハコモノの多い長野市で、集約化と施設の活用はとても大切だと思う
- ◆福祉と防災の拠点を考えた。ワンストップサービスにすべき
- ◆アイデアが整理できた
- ◆公共施設をただ単に減らすだけではなく、市として、必要なものは残すことを知り安心した。人口が減るから昔に戻すということでは、時代とともに向上してきた生活水準や社会サービスを昔の水準に戻すことになるので、してはならないと思う

【副市長のあいさつから】熱のこもった議論とプレゼンテーションをいただき感謝申し上げます。ワークショップの目的は2つあり、地区の公共施設に関心を持って考えていただく。もう一つは、各地区のワークショップでいただく意見を参考に、長野市全体の公共施設再構築の工程表を作りたい。少し長いスパンの工程表となるが、その中に朝陽地区の皆さんの意見を反映していきたい。公共施設の見直しはネガティブな話だけではない。新たな価値を生み出す見直しを進め、地域が生き生きとした街として存続させていくという視点が大事になる。

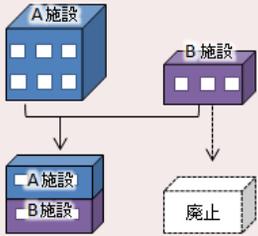


七二会地区の公共施設について考える 市民ワークショップ開催のお知らせ

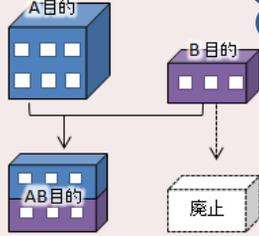
人口減少、少子高齢化が進展する中、地域の賑わいやまちづくり、世代間交流などにつながる、公共施設の「量」と「質」の見直しが求められています。

そこで、七二会地区の市有施設の将来像について、みんなで考える、市民ワークショップを開催します。

複合化



多機能化



施設の集約化で
「にぎわい」づくり

複合化・多機能化による
「多世代交流」

主催者：長野市

(担当：公共施設マネジメント推進課、七二会支所)

協力：七二会地区住民自治協議会

参加者：約30名(公募メンバーほか)

	開催日	内容(予定)
第1回	10月16日(月)	オリエンテーション グループ討議① テーマ：まちづくりのために求められる機能を出し合おう
第2回	11月14日(火)	グループ討議② テーマ：七二会支所の整備方法などについて話し合おう
第3回	12月4日(月)	グループ討議③ テーマ：七二会地区の公共施設の再配置を考えよう グループ意見発表、まとめ

いずれも時間は午後7時から9時まで、場所は「七二会支所」2階です

ワークショップは公開です。興味のある方は、ぜひお越しください。

長野市の公共施設マネジメントの取組について、他の地区で開催した市民ワークショップについて、など長野市公式ホームページ > 公共施設マネジメント推進課 > に掲載しています。ぜひご覧ください。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

七二会支所 電話：229-2311

(裏面もご覧ください)



七二会地区 市民ワークショップの主な検討対象施設

施設名称	経過年数	延床面積 (㎡)	施設名称	経過年数	延床面積 (㎡)
七二会小学校	49	2,990	七二会体育館	33	501
七二会中学校	38	3,851	七二会ふれあい交流広場	12	269
七二会支所	48	336	七二会保育園	12	704
七二会公民館	27	607	消防七二会分署	19	710
七二会消防分団詰所	28	53	七二会小学校笹平分校 (休校)	27	1,252

経過年数は平成29年4月時点です

◇◇ ワークショップのねらい ◇◇

○公共施設見直しの計画策定前の段階から、市民の皆さまと、市が一緒に検討する、地域の公共施設に関する試みです。

○様々な意見を自由に出し合っていたいただき、各グループからの提案を、今後の公共施設見直しのたたき台にしたいと考えています。

○なお、対象施設の整備方法や、存続廃止などを決める場ではありません。

◇◇ ワークショップとは？ ◇◇

↳「創造的な協働作業」を意味する言葉です

○参加者が全員で一緒に考えながら、各グループで提案やプランを作り上げていきます。

○リラックスした雰囲気、自由に、気軽に意見を出し合い、それらに触発されて新しいアイデアが次々に生まれていくプロセスに特長があると言われています。

○参加者のさまざまな思いやニーズ、ノウハウ等を引き出して、提案に生かしていく作業です。

○現存する全ての公共施設を、将来にわたり維持していくために財源を確保し続ける事は極めて困難です。

○公共施設の「量」と「質」について、全市的・総合的な視点による見直しを図り、公共施設を最適に維持管理していく取組である「公共施設マネジメント」が必要不可欠です。

◇◇ 公共施設マネジメントとは？ ◇◇

◆高度成長時代に整備したインフラを含む公共施設が老朽化し、大規模改修や更新時期を一齐に迎えます。

◆人口減少・少子高齢化の進展によって税収は減少し、社会保障関連経費は増大します。

市民サービス向上に努めてきた結果だが...

長野市の「公共施設マネジメントの基本理念」

～将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく～

開催の都度、回覧でお知らせします。

毎回、ワークショップの開催結果等について、回覧でお知らせします。ご意見など、遠慮なく、お聞かせください。

←「マンガでわかる！公共施設等総合管理計画」に登場する、長野市の公共施設マネジメント推進のマスコット、長野家のネコ「ミーコ」です。

「ミーコ」の生みの親は、篠ノ井地区の『長野俊英高等学校 漫画研究部』の皆さんです。



第1回 市民ワークショップ オリエンテーションと、グループ討議を行いました

10月16日（月）支所2階で「七二会地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

はじめに市から、長野市の現状や課題などについて説明し、そのあと各グループごとに「七二会の将来、こんな地域をつくりたい」をテーマに意見を出し合い、発表を行いました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。次回もよろしくお願ひします。

グループ作業の様子です



熱気あふれる意見交換をいただきました。

今後の予定		内容（予定）	会場
第2回	11月14日（火）	グループ討議 テーマ ～将来のためにしたいことを考え、 そのために公共施設をどう使うか話し合おう～	七二会支所 （2階）
第3回	12月4日（月）	グループ討議 テーマ ～七二会地区の公共施設の将来像をまとめよう～ ◇意見発表～まとめ	

いずれも時間は午後7時から9時までです。

◇第2回目は本格的なグループ討議が始まります。特に若い方、ぜひ会場にお越しください。飛び入り参加も大歓迎です。

◇長野市公式ホームページ
「公共施設マネジメント推進課」に
当日の資料などを
掲載しますので、
ご覧ください。



【お問い合わせ先】
公共施設マネジメント推進課
電話：224-7592
七二会支所 電話：229-2311



参加メンバーからのご意見の一部を紹介します



【人口が維持・増加する七二会にしたい】

- ◇通学区制度を緩和して、地区外から小・中学生に来てもらう。小・中学校は必ず残す
- ◇独身者を減らす。若い女性に魅力的な地区にする。若者が帰ってくる地域にしたい
- ◇都会からの移住者が増える。インバウンドで外国人を呼び込む。外国から村ごと誘致する
- ◇空き家対策で、使われていない建物の有効活用を。地すべり指定を解除して
- ◇地元には仕事がある地域に。企業を誘致する。アパート・社宅を建設する
- ◇お金のかからない生活ができる地区に＝区費が高すぎる

【安心・安全な七二会にしたい】

- ◆子育て世代が暮らしやすい七二会にする。子どもが安心して外で遊べる
- ◆子どものいる家庭を大切に。子育て世帯に住んでメリットのある地区に
- ◆交通の便が悪い。子どもの送迎が大変。高校に通えない
- ◆区域内を自由に行き来する公共交通の充実。国道に電車を走らせた
- ◆有害鳥獣対策（くま、いのしし）。土砂災害対策
- ◆地域のコミュニケーションづくりの方法を考える。モノが言い易い雰囲気づくり
- ◆高齢者が元気に田畑で働ける地域でありたい。最後まで七二会に住んでいたい



【七二会の特色を生かした地域にしたい】

- ◇高齢者に長生きしてもらう⇒長野市で長寿一番をアピールする
- ◇年をとったら共同のグループホーム？で暮らしたい。点在した家を一か所に集中して住む
- ◇人が少ないのに地域の役が多すぎて困る⇒人が少ないなりの組織づくり。行事を減らす
- ◇ジビエ料理のお店をつくる。新鮮な野菜がいつでも食べられる。食文化で地域活性化を
- ◇農地を維持して、自然環境も維持。アレチウリを退治する
- ◇フジバカマ園があり、アサギマダラが来る自然を活かす
- ◇休校中の笹平分校を活用したい。若者が市街地に行かなくてもいい地区にしたい
- ◇困っていることを聞いてくれる人がいる。世代間交流が活発で充実している七二会
- ◇楽しみなことがいっぱいある七二会にする

参加者アンケートのご意見を紹介します

- 七二会をどのようにしたいか、活発な意見があった。全員、七二会を良くしようとの意気込みを感じた。貴重な意見が多くあるので、発表時間をもう少し長くして欲しい
- 問題点はすぐに出るが、改善策になると足がすくんでしまう。頭の中の枠を外すことが必要だ
- 初顔合わせ出来て流れが見えた気がする。次回は充実すると思う
- 開催したパフォーマンスに終わらせないこと。結果を早く地区に公開すべき
- 各グループの共通意見が多かったなので、次回以降学生グループで対策を考えたい

◇第1回の結果を、広報ながの11月号にあわせて回覧しています。
第2回の結果は、広報12月号にあわせて回覧します。お楽しみに！



第2回

市民ワークショップの結果をお知らせします

11月14日（火）支所2階で、2回目の「七二会地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

グループ討議では、第一部で「七二会の公共施設でしたいこと。施設の課題」を出し合い、第二部で「老朽化した支所の整備について」話し合いました。討議の間には、市から一般的な「公共施設整備の手法について」のメリット・デメリット等を説明し、建替えについての理解を深めました。参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

市の説明のポイントを紹介します

現地建替え①(敷地が広い場合)

◇既存建物の横に新たな施設を建設し、引越し後、既存建物を解体する方法

- 仮移転が不要で、引越し回数が少なくて済む
- 新たな用地を求めなくて良い
- 工事中敷地(駐車場)が狭くなる

現地建替え②(敷地が狭い場合)

◇既存建物の一部を解体して新たな施設を建設し、引越し後、残っている既存建物を解体する方法

- 仮移転が不要で、引越し回数が少なくて済む
- 新たな用地を求めなくて良い
- 工事中敷地(駐車場)が狭くなる。工事期間が長くなる

現地建替え③(一部解体できない場合)

◇別の場所に仮移転又は休館して既存建物を解体。新たな施設を建設して、引越しする方法

- 新たな用地を求めなくて良い
- 仮移転又は休館が必要。引越し回数が多い。①②に比べてコスト高になる

移転建替え

◇別の場所に土地を求め、新たな施設を建設して、引越しし既存建物を解体する方法

- 仮移転が不要で、引越し回数が少ない。工事期間が短い
- 新たに用地を取得する必要(時間とコスト)がある。
- 場所移転の周知が必要。既存敷地の跡利用が課題

○:メリット、●:デメリット

当日配布した資料を市ホームページに掲載しますので、ぜひご覧ください

◇ワークショップの結果、七二会の公共施設に対するご意見・ご質問などありましたら、遠慮なくお聞かせください。
◇第3回(12月4日)の結果は、来月回覧いたします。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話:224-7592

七二会支所 電話:229-2311

熱く語り合う各グループ

公共施設マネジメント推進課からの説明

いよいよ次回(12月4日)は最終回。各グループの発表に注目しましょう。



各グループから発表された主な意見をご紹介します



次回(最終回)、支所・学校を中心に七二会地区の公共施設の将来像をまとめて、発表いただきます。

【公共施設でしたいこと】

- ◇体育館：運動が得意でない人も楽しく体を動かせるニュースポーツ。ヨガ等。全国規模の大会
- ◇公民館：バザー、婚活パーティー、高齢者の運転技能講習、外国人との交流、戦争体験を聞く、世代間交流、健康づくり、自然体験会、地域のことを学ぶ
- ◇支所：市長や市議を囲む会、バスターミナル化、カフェ、市職員に七二会を体験させる
- ◇小中学校：空き教室を利用したゲストハウス、地域の人との交流会、音楽会・合奏コンクール、子供にパソコンを習いたい、プールの一般開放、中学生同士の民泊交流、ピアノ教室など習い事
- ◇笹平分校：ドローン教室、デイサービスへの活用、都会の人との交流拠点、釣堀、カヌーの拠点、シェアハウス、いつでも利用できるスポーツジム、シェアオフィス、アトリエ
- ◇保育園/かがやき広場：焼き芋大会、お茶のみサロン、フリーマーケット、ビデオ上映会、世代間交流会、近隣の地区の人たちとの交流
- ◇消防分署：空き部屋を分団の詰所に

【したいことをする場合の施設の課題】

- ◆体育館：更衣室がない、暖房設備がない、利用申込みが面倒、駐車場が少ない
- ◆公民館：講師の確保に手間がかかる、使いたいときに開いていない
- ◆支所：老朽化、JAの方針、耐震化、トイレが男女共同、バリアフリー化、現在の立地
- ◆小中学校：子供が少ない、空き教室の活用、行きたい教室に行くのが遠い、交通手段
- ◆笹平分校：縦割り行政のため使えない、駐車場が少ない、プールを撤去する、敷地の出入口の見通しが悪く危ない、アクセスが悪い
- ◆保育園/かがやき広場：かがやき広場は週2日しか開館していない、高齢者しか使えない、活動内容の情報発信が不足、保育園とかがやき広場に隔たりがある

【老朽化した支所の整備について】

- ◇現在地に建て替える。JAとの合築がよい
- ◇JAと一緒に、隣接のJA倉庫の跡地に建て替える
- ◇支所単独で現地に小規模で建て替える。現在の公民館に引っ越しも可能では
- ◇イエローゾーンや災害対策面を考える必要がある。◇国道沿いに移転改築も考えられる
- ◇JA、公民館、高齢者施設、住宅等を複合化した施設にしたら。平屋でバリアフリーが良い
- ◇地域バスで支所に行けることが大切
- ◇砂防事務所と合築で国道近くに移転改築。移動支所機能で山間地には出前支所で対応したら



【参加者アンケートより】

- ★色々な意見があり、自分とは反対の意見もあり参考になった。参加者は皆真剣に考えていることが良くわかった
- ★身近な事として課題に向き合う良い機会だった。今後も地域のことを考えていきたい
- ★高齢化などを考えて行く上で、集約化・複合化はしっかり検討すべきと考える
- ★他の地区の実例も聞きたい
- ★今日の課題は難しかった



最終回 市民ワークショップ

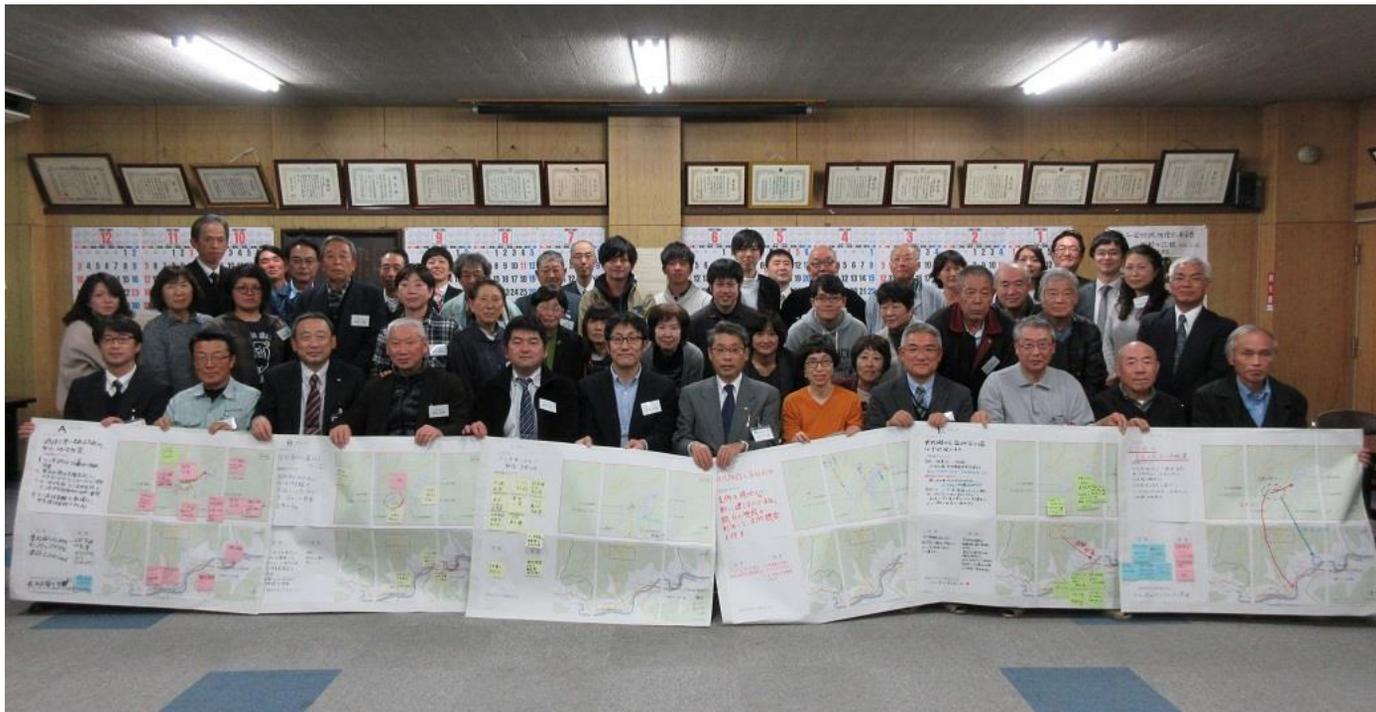
「私たちが考える、公共施設の将来像」

をテーマにグループ討論を行いました

回覧

12月4日（月）支所2階で、第3回の「七二会地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

既存の公共施設の再配置を考えるグループ討論の後、まとめとなる意見発表を行いました。住民自治協議会の小池会長のあいさつ、樋口副市長から御礼のあいさつの後、参加者全員で記念撮影を行い、七二会地区のワークショップは幕を閉じました。関係の皆さま、ありがとうございました。



信州大学工学部の学生グループも含め、支所の将来像を中心に、七二会の公共施設の再配置案を、短い時間の中でまとめて発表していただきました。（詳細は次ページをご覧ください）

今後、具体的な再配置及び施設整備に向けた検討につきましては、今回のワークショップでいただいたご意見等を参考に、地域の皆さまや、広く市民の皆さまの意見をお聴きしながら協議を重ねてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

市民ワークショップや公共施設マネジメントに対するご意見、ご要望などありましたら、遠慮なく下記までお寄せください。



今回のワークショップは、七二会地区住民自治協議会のご協力をいただき、公募及び、七二会地区内の各区からご参加いただいたメンバーで、熱い討論を重ねていただきました。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

七二会支所 電話：229-2311



七二会地区の主な公共施設

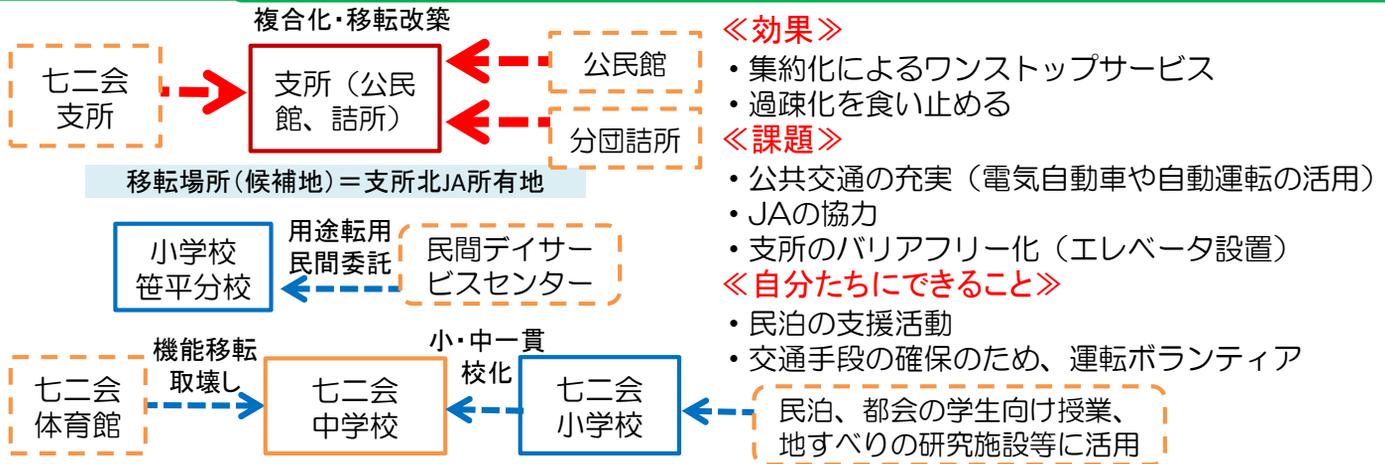


各グループの施設再配置案の概要をご紹介します

以下に、建物を移す案を **→** で、機能を移す案を **→** で、表しています

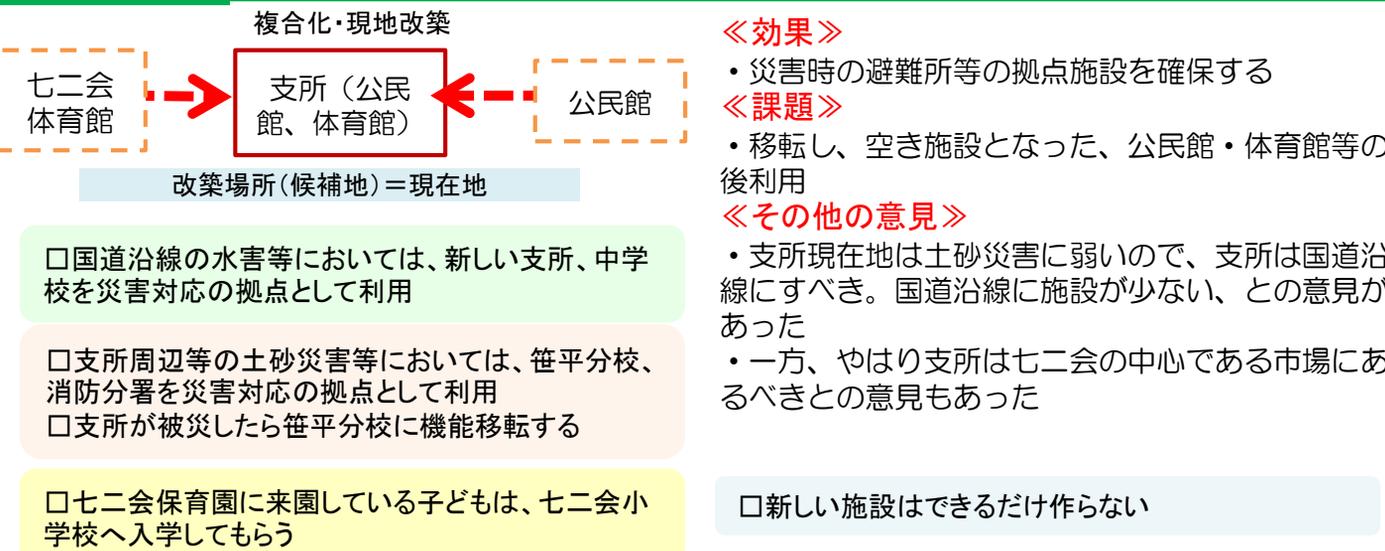
Aグループ

コンセプト【過疎を食い止めるための中心地活用案】

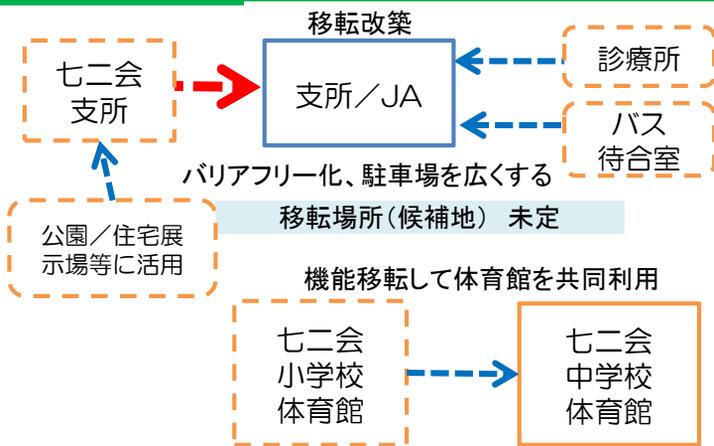


Bグループ

コンセプト【安心安全に暮らせる七二会！！】



Cグループ コンセプト 【老人が使いやすい施設+子供にも】



《効果》

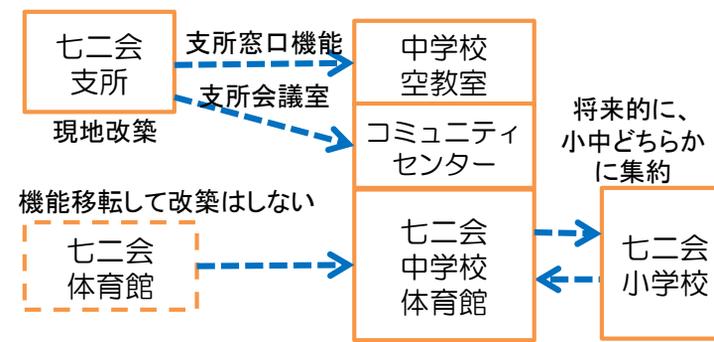
- 人が集まりやすい
- 施設の機能向上（駐車場の確保）
- 防災拠点化（備蓄、避難所）
- ランニングコストの削減

《課題》

- 本当は複合施設化の中に、新しい駐在所を含められれば良かった

・ふれあい交流広場は、多世代に開放してイベントなどに活用する

Dグループ コンセプト 【既存施設を有効利用】



《効果》

- コストの低減
- 既存施設の利用率アップ

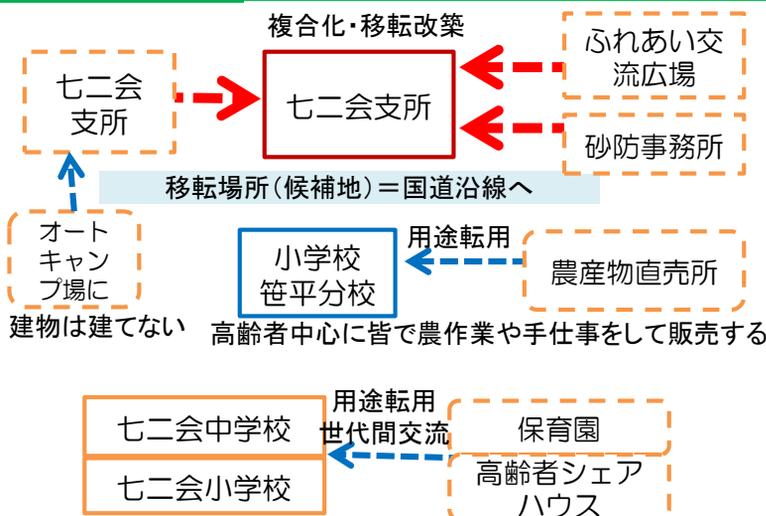
《課題》

- 支所に必要なスペースがどの程度が明確でない
- 今は、学校に空き教室が無いと聞いている

《その他の意見》

- 支所は現在地周辺に必要。無くなると市場の過疎化が進み子どもの安全にも悪影響
- 小中学校を統合し、空いた校舎に介護施設を整備する時代がくるかもしれない

Eグループ コンセプト 【世代間の交流が深まる様な中心地にする】



《効果》

- 国道沿いに移転することで、他地区の人でも利用できて人が集まる

《課題》

- 七二会の中心地から支所が移転すると淋しい、学校を利用して七二会の中心地に世代を越えた人が集まるよりどころを作りたい

《自分たちにできること》

- 七二会に住み続けること

《その他の意見》

- 他地区の支所の活用を考える。支所の機能を選別する。行政手続はどこでもできる。
- 一方、支所不要と言えるのは車の運転ができる間だけとの意見もあった

Fグループ コンセプト 【七二会の文化と生活の再配置】 信州大学工学部学生

- 七二会支所は、七二会保育園付近へ移転する。支所跡地周辺は、歴史・自然の中心、新支所周辺を生活の中心にする
- 七二会体育館、小学校体育館、笹平分校体育館は、中学校体育館へ集約
- 七二会コミュニティセンターは学校の空き教室へ集約する
- 小・中学校の空き教室を使い支所出張サービスを行う。学校体育館の地域開放を



参加者アンケートの主な意見をご紹介します



信大工学部 羽藤准教授



住自協 小池会長



樋口副市長

【Aグループ】

- ◆みんなの希望が詰まったプランニングなので、なるべく沢山取り入れられるよう、住民も協力して進めていければ良い
- ◆何もかも支所等に任せるのではなく、地域住民が考えての利便性を重視していく必要がある
- ◆子育て中の世代の意見を聞いてみたい。中高生にも考えてほしい
- ◆七二会の課題について参加者全員が真剣に考えた。全員が七二会を良くしたいのが分かった

【Bグループ】

- ◆意見がはっきり言えなかったが、七二会のことを真剣に考えたつもり。このような機会はめったにないと思うので、参加できて良かった
- ◆今まで他人事で、施設が新しくなれば良かった、と思う程度だったが、集約化・複合化などを含めて今後の課題について考えていければと思う

【Cグループ】

- ◆グループごとに様々な意見が出てきて参考になった
- ◆公共施設に対する色々な意見があり、日ごろ考える事が無かったので良い機会になった
- ◆七二会がもっと盛り上がりますように

【Dグループ】

- ◆新しいアイデアが多く出たことは素晴らしい。住民の声が反映されることを強く希望する
- ◆ワークショップに参加して勉強になった。公共施設と地域住民がどう関係を持つのか、いろいろ考えさせられた
- ◆同じ七二会に住んでいても、暮らしている地区で意見の違いがあることが良く分かった
- ◆長野市の公共施設の考え方が不明のもとワークショップが行われたように思う

【Eグループ】

- ◆色々な考えや思いがあり、まとめるのが大変だと思うが、進めてほしい
- ◆今回の試みが将来実現することを願う。様々な実情や心情をまとめるのは困難だと思う
- ◆公共施設が沢山あるのにびっくりした。七二会のこれからを考える事が出来た

【Fグループ】 今回は大学生のグループを作りました

- ◆これまでは、公共施設を一つの建物としてしか考えられなかったが、地域全体からの視点でみることができ、これからの在り方を考える事が出来た
- ◆施設は、ただ使えれば良いと思っていたが、集約化の重要性や不要な施設のランニングコストなどについて考えさせられた

【羽藤先生の講評から】第一回目から段階的に議論が具体化し、支所を中心とした施設の在り方まで高めていくことができた。公共施設の再配置については、コストの問題や施設削減など耳の痛い話になりがちだが、今回の話し合いや意見交換の中で、地域の皆さんの思いや希望など、コストの様に数字では計りきれない部分が出された。その点からも、ワークショップの議論が有意義であったと思う。ワークショップで出されたアイデアや意見が今後の施策に生かされることを期待します。

七二会地区のワークショップ開催に御協力いただいた皆さまに、改めて厚くお礼申し上げます



浅川地区の公共施設について考える

第1回 市民ワークショップを行いました

11月11日(土)浅川公民館大会議室で「浅川地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

はじめに市から、長野市の現状や課題等について説明し、そのあとグループごとに、前半で「浅川の将来、こんな地域を作りたい」、後半で「将来のために公共施設でしたいことを考える」をテーマに意見を出し合い、発表を行いました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

グループ討議の様子です



熱気あふれる意見交換をいただきました。

◇住民自治協議会のご協力により、区長をはじめ各種団体役員さんなど、約50人に参加いただいて開催しました。アドバイザーの、信州大学工学部寺内美紀子准教授と信大生も加わって6グループに分かれて意見交換を行いました。

◇寺内先生からのアドバイス

『皆さんの意見発表を聞いて、とても本質的な話が出ていたと思う。浅川地区は中山間地と平地を両方持っている地区。浅川地区の将来の在り方は長野市全体のモデルになるのではないかと。浅川地区の成果は、これからの長野市の公共施設を考えるうえでとても意義深い。浅川全体を一体的に考え続けることが、地域の魅力を高め、これからのまちづくりのきっかけとなることを期待しています』



次回の予定

第2回
(最終回)
2月24日(土)
午前9時30分～
12時00分

グループ検討のテーマ

～支所・学校を中心に、浅川地区の公共施設の将来像について考える～
◇検討の後、グループ意見発表、講評・まとめを行います

会場

浅川公民館
大会議室

◇第2回のワークショップも公開です。

◇長野市公式ホームページ
「公共施設マネジメント推進課」に
当日の資料などを
掲載しますので、
ご覧ください。



【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課
電話:224-7592
浅川支所 電話:241-3552



各グループのご意見の一部を紹介します



【浅川の将来、こんな地域を作りたい】

- ◇人と人との交流、世代間の交流が充実した地域にしたい
- ◇定年退職者や女性などが地域で活躍できる、地区内で生き生きと暮らせる地域に
- ◇山や川、豊かな自然を活かした取り組みがしたい。浅川名物をつくり癒しの観光地にする
- ◇遊休農地を活用する。地元の野菜、ジビエ料理が食べられる。農産物販売施設を作りたい
- ◇安心・安全な地域づくり。子育てしやすい、子供同士が仲良し。高齢者を孤立させない
- ◇交通事故のない地域。安全な道路整備、公共交通が確保された地域にする

【公共施設でしたいこと】

- ◆小学校：空き教室を利用した世代間交流の場、複合施設化。チャレンジウォーク。フリーマーケット。ホテルの鑑賞会。子ども食堂。コミュニティスクール。高齢者や障がい者との交流会
- ◆公民館：ボランティアの拠点。人材の育成。歴史を学ぶ、音楽会、演奏会、ジビエ料理教室、家具の創作、ガーデニング、きのこ栽培。 ◆マレットゴルフ場：世代間交流、観光
- ◆体育館：飯綱高原での合宿、農産物展示販売。自然体験拠点
- ◆人権同和教育集会所：地域内の交流、地域を知る活動 ◆支所：婚活事業
- ◆スパイラル：森林体験、観光客の利用、里山を守る会の利用、星空観賞、マラソン大会、ウォーキング

【浅川のための提案】

- ◇山間地で豊かな自然等を活用した周遊ルートが考えられる。ゆっくりお茶ができる場所を
- ◇荒廃農地対策が必要。農地の所有者を特定するなど、しっかりと対策して農地を守る
- ◇これからの主役は定年退職者。街場から山間地に人が向かうような仕組みづくりを
- ◇キャンプ、炭焼き、バーベキュー、きのこ採り、川遊びなど、自然を活かした取組ができる
- ◇小中学校は調理室や工作室があり、創作の場にできる。学校をもっとオープンに
- ◇小学校の空き教室を多世代で活用することを想定した場合、バリアフリー化が必要
- ◇「事業」の後継者と「家」の後継者、「家」の後継者がいないと子どもがいなくなってしまう
- ◇ブランド薬師と霊園にケーブルカーを引く。浅川ダムをPR。
- ◇中山間地から農産物を街場へ運び販売し、街場で買い物をして帰る循環をつくる。高齢者の安否確認もできる ◇公共施設の有料化も考えるべき

参加者アンケートのご意見を紹介します

- 浅川地区の活性化話し合うのは面白かった。みなさん広範囲に考えていて頼もしいと思った
- 浅川には魅力が多いと感じた。少し時間が足りなかったかなと感じた。
- 活発な意見が出された。公共施設の見直しには個別の施設について時間をかけて検討が必要だ
- 若い世代の人を加えるべきだと思う。浅川の平坦部の人の意見がもっと欲しい
- 6グループから沢山の意見が出されたが、どのように意見をまとめていくのか。大変な仕事
- 課題も多いが、ダム、ブランド薬師、ゴマシジミなど、取り組み方によっては希望がある。

◇第1回の結果を、広報ながの12月号にあわせて回覧しています。
第2回の結果は、広報ながの4月号にあわせて回覧します。お楽しみに！

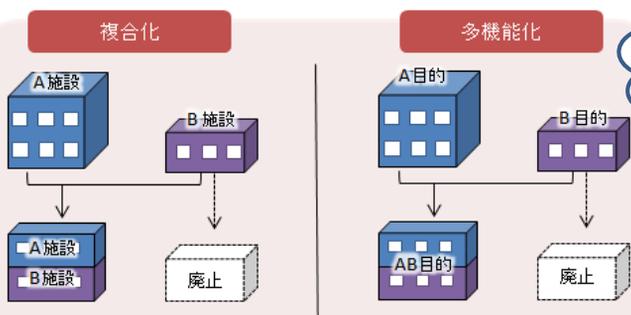




信州新町地区の公共施設について考える 市民ワークショップ開催のお知らせ

人口減少、少子高齢化が進展する中、地域の賑わいやまちづくり、世代間交流などにつながる、公共施設の「量」と「質」の見直しが求められています。

そこで、信州新町地区の市有施設の将来像について、みんなで考える、市民ワークショップを開催します。



施設の集約化で
「にぎわい」づくり

複合化・多機能化による
「多世代交流」

主催者：長野市

(担当：公共施設マネジメント推進課、信州新町支所)

協力：信州新町地区住民自治協議会

参加者：約30名(公募メンバーほか)

	開催日	内容(予定)
第1回	11月12日(日) 14:00～16:00	オリエンテーション グループワーク
第2回	11月25日(土) 14:00～16:00	グループ討議
第3回	12月16日(土) 14:00～16:00	グループ討議
第4回	1月13日(土) 14:00～16:00	グループ討議 テーマ：信州新町地区の公共施設の再配置を考えよう グループ意見発表、まとめ

開催場所は、
全て信州新町
支所です

ワークショップは公
開です。興味のある
方は、ぜひお越し
ください。

長野市の公共施設マネジメントの取組について、他の地区で開催した市民ワークショップについて、など長野市公式ホームページ > 公共施設マネジメント推進課 > に掲載しています。ぜひご覧ください。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

信州新町支所 電話：262-2200

(裏面もご覧ください)

信州新町地区 市民ワークショップの主な検討対象施設

施設名称	経過年数	延床面積 (㎡)	施設名称	経過年数	延床面積 (㎡)
小学校・中学校	54	10,433	信州新町体育館 (市民プール)	28	6,128
支所・公民館	24	4,503	信州新町保育園	16	1,619
さざり荘ほか宿泊施設	41	4,211	水防会館	23	594
道の駅ほか産業振興施設	29	1,736	新町消防署・分団詰所	22	1,500
福祉センターほか保健福祉施設	36	3,562	美術館・博物館・収蔵庫	70	3,762

経過年数は平成29年4月時点 (最も古い棟) です。美術館・博物館は、別途活性化に向けた検討が始まっています。

○公共施設見直しの計画策定前の段階から、市民の皆さまと、市が一緒に検討する、地域の公共施設に関する試みです。
 ○様々な意見を自由に出し合っていたいただき、各グループからの提案を、今後の公共施設見直しのたたき台にしたいと考えています。
 ○なお、対象施設の整備方法や、存続廃止などを決める場ではありません。

◆◆ ワークショップのねらい ◆◆

○参加者が全員で一緒に考えながら、各グループで提案やプランを作り上げていきます。
 ○リラククスした雰囲気、自由に、気軽に意見を出し合い、それらに触発されて新しいアイデアが次々に生まれていくプロセスに特長があると言われています。
 ○参加者のさまざまな思いやニーズ、ノウハウを引き出して、提案に生かしていく作業です。

◆◆ ワークショップとは？ ◆◆

↳ 「創造的な協働作業」を意味する言葉です

○現存する全ての公共施設を、将来にわたり維持していくために財源を確保し続ける事は極めて困難です。
 ○公共施設の「量」と「質」について、全市的・総合的な視点による見直しを図り、公共施設を最適に維持管理していく取組である「公共施設マネジメント」が必要不可欠です。

◆高度成長時代に整備したインフラを含む公共施設が老朽化し、大規模改修や更新時期を一齐に迎えます。
 ◆人口減少・少子高齢化の進展によって税収は減少し、社会保障関連経費は増大します。

◆◆ 公共施設マネジメントとは？ ◆◆

市民サービス向上に努めてきた結果だが...

長野市の「公共施設マネジメントの基本理念」

～将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく～

ワークショップの開催結果等については随時お知らせします。ご意見など、遠慮なく、お聞かせください。



←「マンガでわかる！公共施設等総合管理計画」に登場する、長野市の公共施設マネジメント推進のマスコット、長野家のネコ「ミーコ」です。
 「ミーコ」の生みの親は、篠ノ井地区の『長野俊英高等学校 漫画研究部』の皆さんです。

第1回 市民ワークショップ オリエンテーションと「信州新町の公共施設を知ろう」 をテーマにグループ作業を行いました

11月12日（日）信州新町支所で「地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

はじめに市から、長野市の公共施設の現状や課題などについて説明し、そのあと「知っている信州新町の公共施設を書き出してみる」作業を行いました。作業のまとめを各グループから発表いただいた後、市から公共施設の配置図や施設の概要調書などで施設を確認しました。参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

グループ作業の様子。熱心に話し合っていました



中学生・高校生中心のグループ。
どんなアイデアが出るか楽しみです

今後の予定		内容（予定）	会場
第2回	11月25日（土） 14:00-16:00	◇グループ討議 テーマ ～地区の将来、こんな信州新町を作りたい。 そのために公共施設をどう使うか考える～	信州新町支所 （2階大会議室）
第3回	12月16日（土） 14:00-16:00	◇グループ討議 テーマ ～公共施設の集約化・複合化について考えよう～	
第4回	1月13日（土） 14:00-16:00	◇グループ討議 テーマ ～信州新町の公共施設の将来像を考えよう～ ◇意見発表、まとめ	

◇第2回目から本格的なグループ討議が始まります。興味のある方は、ぜひ会場にお越しください。飛び入り参加も大歓迎です。

◇長野市公式ホームページ「公共施設マネジメント推進課」に当日の資料などを掲載していますので、ご覧ください。



【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

信州新町支所 電話：262-2200



参加メンバーからのご意見の一部を紹介します



【信州新町地区の公共施設について】

- ◇道の駅：そばがおいしい。トイレがきれい。品数が多い。駐車場が狭い。
- ◇水防会館：葬祭やイベント・懇親会など多目的に利用できる重要な施設。
- ◇新町体育館：施設の評判が良く利用頻度が高い。予約が一杯で地域で使いづらい。
- ◇市民プール：老朽化している。スライダーを直して。中学の授業で使用。屋内にできないか。
- ◇さざり荘：休憩室が居心地良い。公園が楽しい。風呂が古い。サウナが欲しい。使用料高い。
- ◇福祉センター：よく利用されている。風呂設備が利用されていない。駐車場が狭い。
- ◇小学校：老朽化している。傾斜地で階段多い。空き教室がある。地すべりが心配だ。
- ◇中学校：自分たちが通った思い出がある。PTAのグラウンドの草刈が大変。カヌーの拠点に。
- ◇美術館、博物館：住民無料開放デーを設けたら。小さくても世界レベルの公募展開催を。
- ◇市営住宅：住みやすい。子どもが多い。空き家が多い。なぜ住まないのかわからない。
- ◇犀峽斎場：便利に使える。対応も親切。利用率の向上も必要では。
- ◇新町消防署：地域にとって大切な施設。◇支所/公民館：広くてきれい。設備が充実している。
- ◇老朽化した施設を改修しても、使い方を一緒に考えないと利用者は増えない。

【ワークショップの進め方などについて】

- ◆初めてだったので、どうすればよいかわからなかったが、思いついたことを言ってみた。
- ◆グループが世代別だったので、とても安心して楽しく話し合えてよかった。
- ◆新町について考えることがなかったので、ワークショップに参加し改めて新町に興味が出た。
- ◆町内の施設について、あまり考える事がなかったので良い機会となった。
- ◆各地区での要望など、地区での集会をして住民の意見も出した方が良いと思う。一部の人の意見に偏ってしまうのではないか。
- ◆公共的な施設と営利目的の施設など、施設の区別が必要だ。災害に強い地域にしてほしい。
- ◆どこについて工夫し、改善するのか、具体的に考えたい。
- ◆将来の新町について考えていきたい。第2回目のワークショップが楽しみだ。

※信州新町美術館・化石博物館、ミュゼ蔵などの施設については、地元の検討委員会と市教育委員会が活性化に向けた検討を進めています。また、小学校の老朽化対策についても、現在、PTAはじめ地域の皆さまと方向性について相談させていただいています。



アドバイザーの佐倉先生(信州大学工学部助教)のコメントを紹介します

- 地区の区長さんから中学生まで、幅広い世代の皆さまが集まり、話し合うことは、信州新町地区にとっても非常に意義深いことだと思う。
- 各グループの意見発表を聞いて、公共施設が散在している状況が認識された。施設の統廃合が大事な課題だと感じた。
- 限られた時間の発表なので、発表されなかった討議の中に重要な話があったはず。それを次回以降の提案に、ぜひつなげていただきたい。

◇第1回の結果を、広報ながの12月号にあわせて配布しています。
第2回の結果は、広報ながの1月号にあわせて配布します。お楽しみに！



第2回

市民ワークショップの結果をお知らせします

11月25日（土）信州新町支所で、2回目の「信州新町地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

グループ討議では、第一部で「信州新町の将来、こんな地区を作りたい」をテーマに、第二部で「私たちが公共施設で「したいこと」を考えよう」をテーマに話し合い、次回のワークショップにつながる活発なグループ討議となりました。参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

グループ討議の内容です

第1回WS

◇オリエンテーション

①「使ったことのある信州新町地区の公共施設を書き出そう」

（ねらい：信州新町地区には公共施設が多く散在していることや、施設の実態について再認識する）

グループ意見発表

第2回WS（今回）

①「信州新町の将来、こんな地区を作りたい」

②「私たちが公共施設で「したいこと」を考えよう」

（ねらい：今後の信州新町の姿をイメージし、公共施設でしたい活動や、こんな施設にしたいといった意見を出し合う）

グループ意見発表

第3回WS（予定）

①「地区の公共施設の集約化・複合化について考えよう」

（ねらい：公共施設の集約化や複合化について話し合いながら将来の信州新町地区の公共施設のあり方を考える）

グループ意見発表

第4回WS（予定）

①「信州新町の公共施設の将来像をまとめよう」

◇各グループのまとめ、意見発表

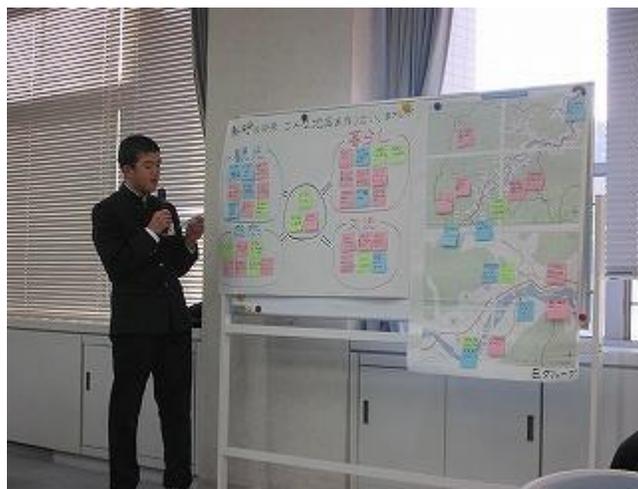
◇講評・まとめ、記念写真撮影



当日配布した資料を市ホームページに掲載しますので、ぜひご覧ください



熱く語り合う各グループ



最年少の中学生も大活躍（グループ発表）

長野家の猫
ミーコ



◇ワークショップの結果、信州新町の公共施設に対するご意見・ご質問などありましたら、遠慮なくお聞かせください。

長野市ホームページ
（市民ワークショップのページ）

<https://www.city.nagano.nagano.jp/site/koukyou-ws/>

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

信州新町支所 電話：262-2200

「こんな地区をつくりたい、公共施設でいたいこと」



各グループから発表された主な意見をご紹介します

【こんな地区を作りたい】

- ◆**観光・自然**：カヌーの拠点、グルメの発展（サフォーク、ジビエなど）、犀川を活用（カヌー、釣りなど）、自然を大切に（共生）、自然で遊ぶ、ロケ地、動物フェスティバル、交流人口の増加、羊が見える・ふれあえる、荒れる農地対策、広い自然林の整備（けもの村にはしない）
- ◆**アート**：美術・芸術のまち、芸術家の発掘地、芸術家が集まるまち、写真コンテストで集客、アート・グルメの発信基地、美術館のレンタル
- ◆**交流**：住民がふれあえるまち、簡単（気軽に）に集える場所、住民以外も入りやすい場、世代間交流が盛んなまち、交流人口を増やす、周辺の中山間地域とつながるまち
- ◆**その他**：空家の活用、公共交通は必要、独自の魅力を大切にする、若い夫婦の定住につながるいい事を、1ターンの促進、子供が自慢できる地域づくり、町の中で買い物ができる

【公共施設でいたいこと】

- ◇**支所周辺（中学校、公民館、体育館、プール含む）**：カヌー置場・座学、カヌーなど水上スポーツの拠点、カヌー体験（プールで）、世代間交流、信州新町の魅力発信、室内での運動、高齢者が安心して運動、プロの試合、スイミングスクール、職業学習、ジビエ料理教室
- ◇**美術館・化石博物館・有島生馬記念館**：企画展、個人作品の常備・展示、地元出身芸術家の個展、コンサート、アートレジデンス、カフェ、体験型学習（多様な教育）
- ◇**道の駅 信州新町**：農産物売場を拡大し農家に活気と集客向上、信州新町の観光や食の発信、加工体験、地場商品を利用した商品開発、生産者との交流、住民・移住者・観光客の交流
- ◇**さざり荘（※は犀川交流センターも同様）**：露天・足湯、健康づくりと温泉、冬季の湯治場、※ジビエ料理、※カヌー体験の宿泊、※釣り大会で活性化、※子供たちが遊べる・集まる工夫
- ◇**めん羊繁殖センター**：動物とのふれあい、ドッグラン、材木屋・建設業者の総合窓口
- ◇**小学校**：居住体験、高齢者と子供など交流の場、アーティストのアトリエ、シェアオフィス、老人デイサービス（空き教室利用）



【参加者アンケートより】

- ★交通面での制約は大いにあるが、できる限り発展的な検討をしていきたい
- ★公共施設をどうやって少なくしていくかという方向だけではなく、せっかくの施設をもっと有効に活用するためのディスカッションをいっぱいやった方がいいと思う
- ★実際に信州新町に住む方と、市内（外部）の方との考える内容の違いが刺激になった。第4回で終了するのはもったいない。終わりなしで続けてほしい
- ★住民と新町に住んでない人との要望がやっぱり違うと感じた。また、世代間でも、都市の問題意識も違って、都市に残っている空き家、施設の活用法も、自分にない意見が出ていておもしろかった
- ★長野市全体の公共施設（ソフト的なことも含めて）の予算配分イメージがあれば教えてほしいと思います

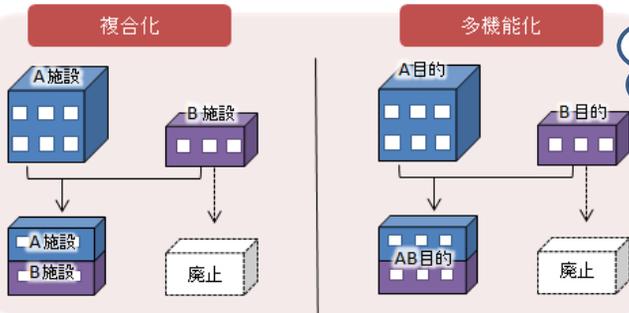
◇第3回(12月16日)の結果は、来月、お知らせいたします。



松代地区の公共施設について考える 市民ワークショップ開催のお知らせ

人口減少、少子高齢化が進展する中、地域の賑わいやまちづくり、世代間交流などにつながる、公共施設の「量」と「質」の見直しが求められています。

そこで、松代地区の市有施設の将来像について、みんなで考える、市民ワークショップを開催します。



施設の集約化で
「にぎわい」づくり

複合化・多機能化による
「多世代交流」

主催者：長野市
(担当：公共施設マネジメント推進課、松代支所)
協力：松代地区住民自治協議会
参加者：約30名(公募メンバーほか)

	開催日	内容(予定)
第1回	11月26日(日) 10:00~12:00	オリエンテーション グループワーク
第2回	12月10日(日) 13:30~15:30	グループ討議 テーマ:真田公園、支所周辺の公共施設について話し合おう
第3回	12月24日(日) 10:00~12:00	グループ討議 テーマ:5つの小学校周辺の公共施設について話し合おう
第4回	1月21日(日) 13:30~15:30	グループ討議 テーマ:松代地区の公共施設の再配置を考えよう グループ意見発表、まとめ

開催場所は、
全て松代支所
2階を予定

ワークショップは公
開です。興味のある
方は、ぜひお越し
ください。

長野市の公共施設マネジメントの取組について、他の地区で開催した市民ワークショップについて、など長野市公式ホームページ >公共施設マネジメント推進課<に掲載しています。ぜひご覧ください。

【お問い合わせ先】
公共施設マネジメント推進課
電話:224-7592
松代支所 電話:278-2280

(裏面もご覧ください)

松代地区 市民ワークショップの主な検討対象施設

施設名称	経過年数	延床面積 (㎡)	施設名称	経過年数	延床面積 (㎡)
6小学校	49	23,565	青垣公園（プール、体育館外）	45	1,214
松代中学校	36	9,971	宝物館、象山記念館、大室古墳館	53	2,656
松代支所	28	1,330	6保育園	44	3,491
松代公民館（8分館・分室）	46	3,446	松代消防署	27	635
6消防分団詰所	27	287	松代保健センター	12	1,458

経過年数は平成29年4月時点（最も古い棟）です

◇◇ ワークショップのねらい ◇◇

○公共施設見直しの計画策定前の段階から、市民の皆さまと、市が一緒に検討する、地域の公共施設に関する試みです。

○様々な意見を自由に出し合っていたいただき、各グループからの提案を、今後の公共施設見直しのたたき台にしたいと考えています。

○なお、対象施設の整備方法や、存続廃止などを決める場ではありません。

◇◇ ワークショップとは？ ◇◇

～「創造的な協働作業」を意味する言葉です～

○参加者が全員で一緒に考えながら、各グループで提案やプランを作り上げていきます。

○リラククスした雰囲気、自由に、気軽に意見を出し合い、それらに触発されて新しいアイデアが次々に生まれていくプロセスに特長があると言われています。

○参加者のさまざまな思いやニーズ、ノウハウ等を引き出して、提案に生かしていく作業です。

◇◇ 公共施設マネジメントとは？ ◇◇

◆高度成長時代に整備したインフラを含む公共施設が老朽化し、大規模改修や更新時期を一齐に迎えます。

◆人口減少・少子高齢化の進展によって税収は減少し、社会保障関連経費は増大します。

○現存する全ての公共施設を、将来にわたり維持していくために財源を確保し続ける事は極めて困難です。

○公共施設の「量」と「質」について、全市的・総合的な視点による見直しを図り、公共施設を最適に維持管理していく取組である「公共施設マネジメント」が必要不可欠です。

市民サービス向上に努めてきた結果だが...

長野市の「公共施設マネジメントの基本理念」

～将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく～

開催の都度、回覧でお知らせします。

毎回、ワークショップの開催結果等について、回覧でお知らせします。ご意見など、遠慮なく、お聞かせください。

←「マンガでわかる！公共施設等総合管理計画」に登場する、長野市の公共施設マネジメント推進のマスコット、長野家のネコ「ミーコ」です。

「ミーコ」の生みの親は、篠ノ井地区の『長野俊英高等学校 漫画研究部』の皆さんです。



第1回 市民ワークショップ オリエンテーションと「松代の公共施設を知ろう」 をテーマにグループ作業を行いました

11月26日（日）松代支所で「地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

はじめに市から、長野市の公共施設の現状や課題などについて説明し、そのあと「知っている松代の公共施設を書き出してみる」作業を行いました。作業のまとめを各グループから発表いただいた後、市から公共施設の概要調書などで施設を確認しました。参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

グループ作業の様子 熱心に話し合っていました



中学生のグループ
どんなアイデアが出るか楽しみです

今後の予定		内容（予定）	会場
第2回	12月10日（日） 13:30-15:30	◆グループ討議 テーマ ～松代地区中心部の公共施設の 課題と将来像を考えよう～	松代支所 （2階大会 議室）
第3回	12月24日（日） 10:00-12:00	◆グループ討議 テーマ ～学校を中心とした公共施設の 集約化・複合化について考えよう～	
第4回	1月21日（日） 13:30-15:30	◆グループ討議 テーマ ～松代の公共施設の将来像をまとめよう～ ◆意見発表、まとめ	

◇第2回目から本格的なグループ討議が始まります。興味のある方は、ぜひ会場にお越しください。飛び入り参加も大歓迎です。

◇長野市公式ホームページ
「公共施設マネジメント推進課」に
当日の資料などを
掲載していますので、
ご覧ください。



【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話:224-7592

松代支所

電話:278-2280



参加メンバーからのご意見の一部を紹介します



【松代地区の公共施設について】

- ◆公共施設全般：駐車場不足。利用者に施設利用料を負担してもらいたい。
- ◆青垣公園：プールが人気。子供がのびのび遊べる。体育館やグラウンドの予約がとれない。
- ◆真田宝物館：耐震性と老朽化。
- ◆象山記念館：来館者が少ない。】 両方を併せた見直しが必要
- ◆松代城跡などの文化財：お堀の水が汚い。周辺に飲食店がほしい。
- ◆大室古墳館：閑散としている。PR不足。アクセスが不便。
- ◆清野・豊栄保育園：老朽化。冷房がない。
- ◆小学校・中学校全般：夏暑く、冬寒い。
- ◆清野・西条・豊栄小学校：児童数の減少。 ◆東条小学校：老朽化。
- ◆松代小学校：音楽室と多目的室が市民も利用できる。他の小学校も同様にしてほしい。
- ◆松代消防署：交通量が激しく、出入りに注意が必要。
- ◆松代斎場：きれいで清潔。 ◆公衆トイレ：きれいで充実。
- ◆公民館・各地区分館：老朽化。バリアフリー化されていない。メンテナンスが不十分。



【ワークショップの感想など】

- ◆他の地区の現状など同じ松代地区でも知らないことが多くあり、参加者の方の色々な意見を聞くことができてよかった。
- ◆松代のことを考える良い機会になった。
- ◆他の年代や地域の人達と意見を出ることができてよかった。
- ◆もう少し意見が出せればよかった。他グループの発表が参考になった。
- ◆松代の課題を見つめることが具体的にできたと思う。次は解決事項の提案実行ができるよう考え、相談できればよいと思う。
- ◆次回以降の具体的な検討が楽しみになった。実現可能な具体案が多く出されるとよいと思う。
- ◆松代の公共施設を出してみると、とても多くてびっくりした。公共施設が多いと地域の方々とのふれあえるのでとても良いと思うが、多い分、施設の整備が行き届かずに老朽化が進んでしまった所が多いので、そういった所を今後どうしていくかが松代の課題点ではないかと思う。

久保田総務部長あいさつ

ワークショップにご参加いただいたこと、また、住民自治協議会の皆様には、参加メンバーの募集や、開催日程の調整など、事前の準備にご尽力いただいたことに感謝申し上げます。こうして中学生から高齢者までの幅広い世代が一堂に集まって議論することは、松代のまちづくりに大変有意義なことと考える。人口減少や公共施設の老朽化が進む中、公共施設マネジメントは避けて通れない課題である。4回のワークショップを通して、将来の松代地区の公共施設のあるべき姿を考えていただくようお願いしたい。

◇第1回の結果を、広報ながの1月号の配布時期にあわせて回覧しています。第2回の結果は、広報2月号の配布時期にあわせて回覧します。お楽しみに！





参加者募集

「より良い大岡にするために」 市民ワークショップ開催のお知らせ

長野市は、地域の特性を活かしながら、だれもが住み慣れた地域で安心して住み続けられるまちづくりに取り組んでいます。

また、人口減少・少子高齢化の進行や公共施設の老朽化など、これまでにない時代を迎えるなか、持続可能な行財政運営が求められています。

そこで、**大岡の今と将来について、みんなで話し合うワークショップ**を開催します。

	開催日	内容（予定）
第1回	平成29年 12月9日(土)	オリエンテーション グループ討議① テーマ：現在行っている活動、使ったことのある地区の公共施設を出し合おう
第2回	平成29年 12月23日(土)	グループ討議② テーマ：地区の将来、こんな大岡をつくりたい グループ討議③ テーマ：大岡のために、やりたいことを話し合おう
第3回	平成30年 1月14日(日)	グループ討議④ テーマ：大岡をより良くするための活動を、具体的に考えよう グループ討議⑤ テーマ：継続した活動のための組織・仕組みを話し合おう
第4回	平成30年 1月28日(日)	グループ討議⑥ テーマ：施設分野別に、公共施設のあり方を考えよう グループ討議⑦ テーマ：公共施設の複合化・多機能化について考えよう
第5回	平成30年 2月11日(日)	グループ討議⑧ テーマ：小さな拠点と公共施設の将来像について考えよう グループ意見発表・まとめ

いずれも時間は、午後1時30分から3時30分まで、場所は「大岡支所」2階です

みなさまの
ワークショップの
参加お待ちしております！



主催：長野市

担当：公共施設マネジメント推進課(Tel 224-7592)

：都市政策課(Tel 224-5050)：大岡支所(Tel 266-2121)

協力：大岡地区住民自治協議会

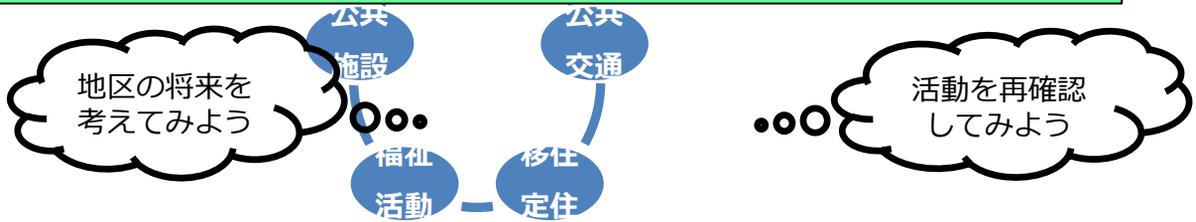
参加者：約30名（公募メンバーほか）

← 長野市公共施設マネジメント推進マスコット「ミーコ」

（裏面もご覧ください）

地域

視点その1：地域をより良くする取組を検討（=小さな拠点づくり）



いろいろな活動や機能を組み合わせてみよう

地域をより良くする取組み

地域の資源を活かそう

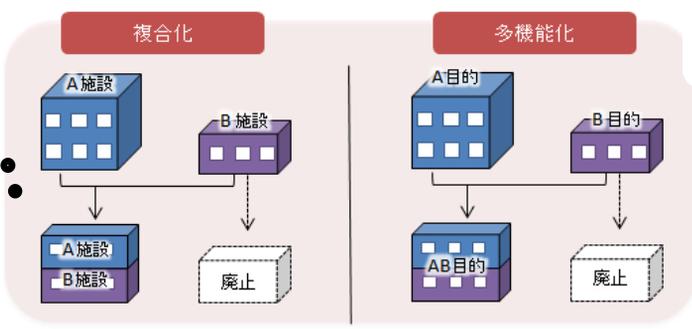
◇◇ 小さな拠点づくりとは ◇◇

- ◆地域の資源を活かし利便性を高めることで活動が維持・継続され、将来にわたり生き生きと暮らしていけるように、地域が主体となって取り組んでいくものです。
- ◆今回のワークショップでは、現在地域で行われている活動を再確認するとともに、それぞれの活動を発展させ組み合わせることにより、持続的に運営できる取組みを提案してもらいます。

視点その2：公共施設の見直し（=公共施設マネジメント）

複合化・多機能化による「多世代交流」

施設の集約化で「にぎわい」づくり



◇◇ 公共施設マネジメントとは ◇◇

- ◆高度成長時代に整備したインフラを含む公共施設が老朽化し、大規模改修や更新時期を一齐に迎えます。
- ◆人口減少・少子高齢化によって税収は減少し、社会保障関連経費は増大することから、現存する全ての公共施設を、今のまま維持していく事は、極めて困難です。
- そこで、公共施設の「量」と「質」について、全市的・総合的な視点による見直しを図り、公共施設を最適に維持管理していく取組である「公共施設マネジメント」が必要不可欠です。
- ◇長野市は、地域の公共施設の将来像について、市民の皆さまと一緒に考える地区別ワークショップの開催を進めています。

「より良い大岡にするために」 市民ワークショップメンバー応募用紙

ご応募締切日：平成29年11月6日(月)

事務局記入欄			
受付日	平成29年	月	日

応募者	氏名(ふりがな)		年齢	性別
	職業			
連絡先	住所	〒		
	電話番号			
	FAX			
	メールアドレス			
応募動機(記入任意)				

きりとり

※ワークショップメンバーは約30名、できるだけ全ての回に出席できる方を募集します。

※大岡地区外にお住まいの方も応募できます。

※応募者多数の場合は選考させていただきますので、ご承知おきください。

- ・氏名、年齢、性別、住所は、必ずご記入ください。
- ・電話番号、FAX、メールアドレスは、最低1つはご記入ください。(日中連絡可能な連絡先。携帯も可)
- ・職業は学生(小・中・高も可)、主婦、会社員、団体役員、自営業、無職など、大まかにご記入ください。
- ・応募用紙の提出方法は、郵送、持参、FAX、電子メールのいずれかでお願いします。

◆個人情報の取り扱いについて

- ・ご記入いただいた個人情報は、「より良い大岡にするために」市民ワークショップの活動のみに使用します。
- ・本件活動及び運営を円滑に行うために、いただいた個人情報のうち、氏名、住所の一部を記載した参加者名簿を作成し、各参加者へ配布します。
- ・ご記入いただいた個人情報は、上記の目的以外で使用したり、あらかじめご本人の同意なく第三者に提供することはありません。

提出先 〒381-2703 長野市大岡乙287
大岡地区住民自治協議会事務局
TEL 026-266-2151 FAX 026-266-2153
E-mail oookaj@grn.janis.or.jp

市民ワークショップメンバー
応募用紙の裏面です。
ぜひご応募ください。
ご不明な点は、
遠慮なく大岡支所まで
お問い合わせください。

◇◇ ワークショップとは ◇◇ ～「創造的な協働作業」を意味する言葉です～

- 参加者が全員で一緒に考えながら、各グループで提案やプランを作り上げていきます。
- リラックスした雰囲気、自由に、気軽に意見を出し合い、それらに触発されて新しいアイデアが次々に生まれていくプロセスに特長があると言われています。
- 参加者のさまざまな思いやニーズ、ノウハウ等を引き出して、提案に生かしていく作業です。



- 毎回、ワークショップの開催結果等について、回覧でお知らせします。ご意見など、遠慮なく、お聞かせください。
- 長野市の公共施設マネジメントの取組や、他地区で開催した市民ワークショップについて、[長野市公式ホームページ > 公共施設マネジメント推進課](#)に掲載しています。ぜひご覧ください。
- ワークショップは公開です。興味のある方は、ぜひお越しください。